

越前市森林・林業マスタープラン

山ガイド



令和6年3月

越前市

本山ガイドは暫定版です。

令和6年度中に地域の皆さまと共に完成させる予定です。

目次

山ガイド

① 村国山	1
② 三里山（行司岳・逢坂山）	3
③ 日野山	5
④ 茶臼山	7
⑤ 岡本山	9
⑥ 妙法寺山	11
⑦ 船山	13
⑧ 愛宕山	15
⑨ 鬼ヶ岳	17
⑩ 矢良巢岳	19
⑪ 矢谷山（大塩八幡宮）	21
⑫ 岩内山	23
⑬ 武衛山	25
⑭ 大平山	27
⑮ 天城山	29
⑯ 金華山	31
⑰ 大阪山（馬借街道）	33
⑱ 若須岳	35
⑲ 八ツ杉	37
⑳ 大徳山（青山）	39
㉑ 権現山	41
㉒ 八幡山	43
森林拠点紹介	45
地域の皆様が山で活用できる支援制度	47
チャレンジプロジェクト	48

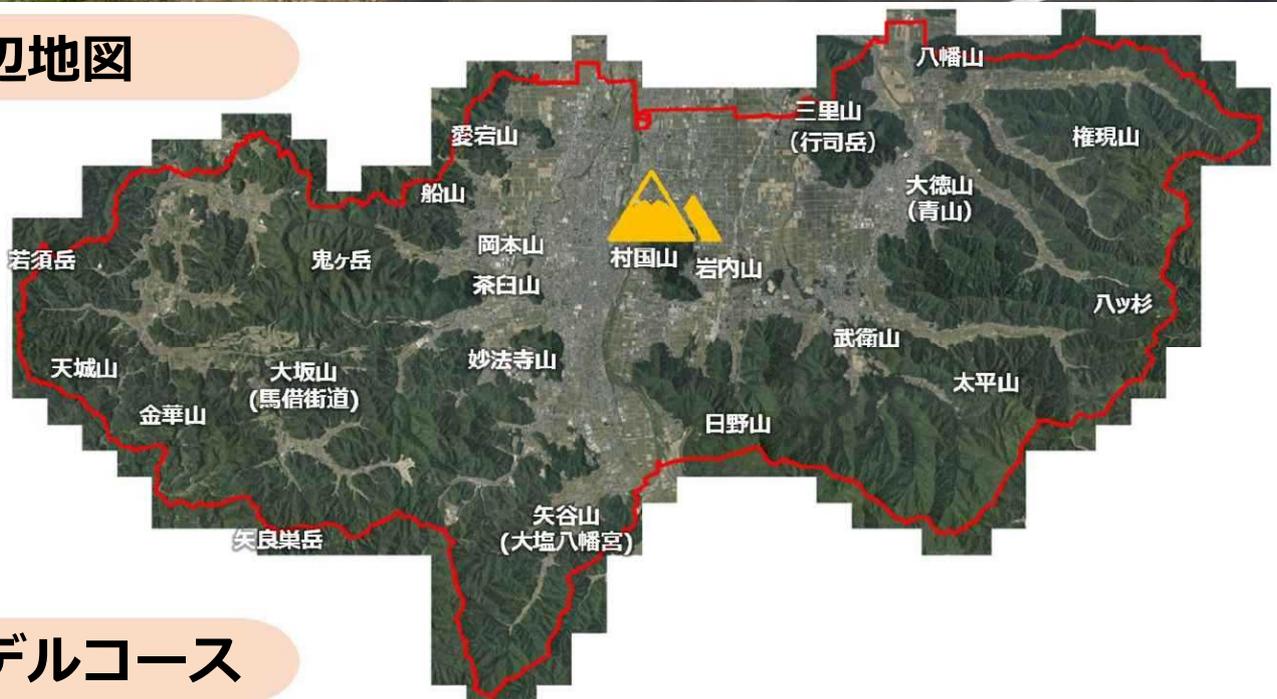
コラム

カーボンニュートラル	60
森林におけるJ-クレジット	62
森林・林業マスタープラン	64

むらくにやま
📍 **村国山 (国高地区) : 239m**



周辺地図



モデルコース



北側



南側

地理院地図を元に作成

村国山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます

竹スライダー



ターザン



パラグライダー



三世代清掃

**登山口から山頂までは約850m
上り約50分（往復約1時間40分）**

参考：中部北陸自然歩道越前市
エリアマップ/福井県

村国山は、中国の景勝地に似ていることから芦山と呼ばれ、この山の半分は芦山公園という都市公園になっています。また、舗装された車道が整備されているため、車での登頂も可能です。

また、NPO法人『あそぼっさ！越前市ハッピープロジェクトチーム』（通称あそプロ）が毎年9～10月に『そうだ！村国山へ行こう！』というイベントを主催しており、ターザン体験や竹スライダー、ツリーハウス宿泊（現在製作中）など、村国山で様々な遊びを体験できます。詳しくは090-2037-4409（田辺）までお問い合わせください。そして、パラグライダー体験も通年で行っています。天候等に左右されますが、村国山からパラグライダーで市内を飛ぶことができます。詳しくは090-3766-8553（ジャムスポーツパラダイススクール）までご連絡ください。



あそプロHP



ジャム
スポーツHP

地元の活動 | 三世代清掃

国高地区自治振興会グリーンクラブでは、武生第三中学校の生徒に協力してもらい、三世代で村国山の清掃を毎年行っています。

見どころ | 桜の花

山頂付近には枝垂れ桜があり、春には満開の花を咲かせます。



さんりやま

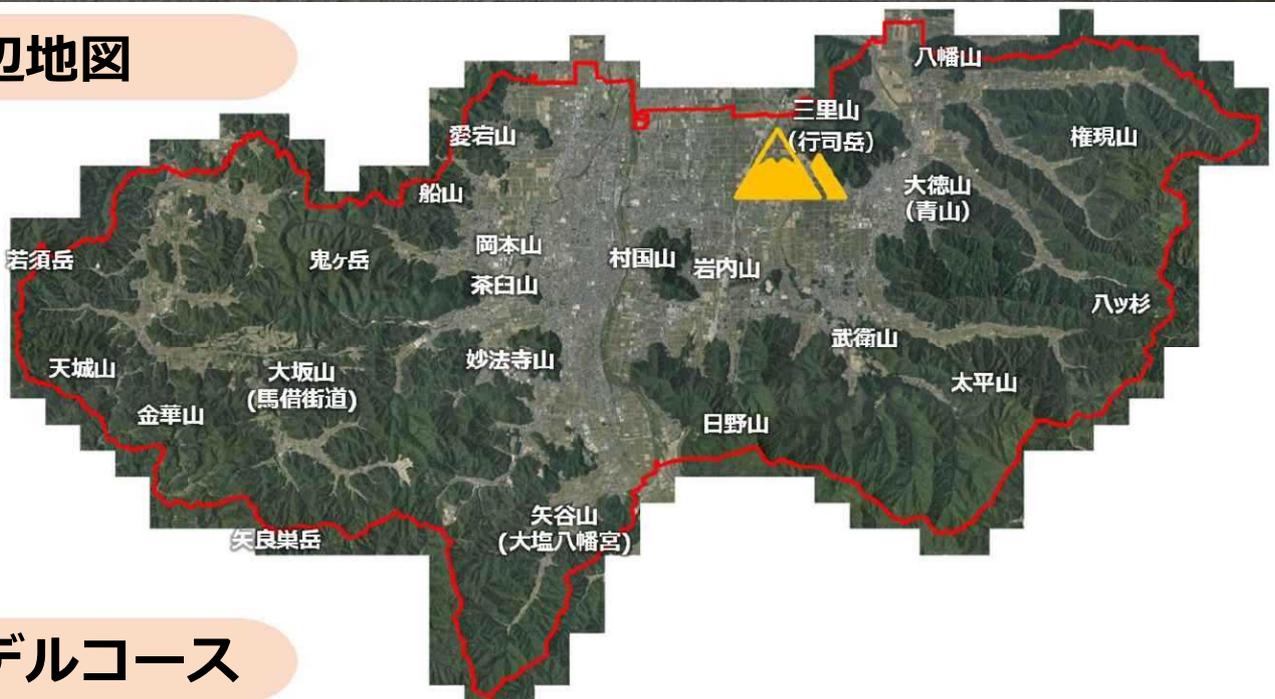


三里山 (北新庄地区) (粟田部地区) (南中山地区)

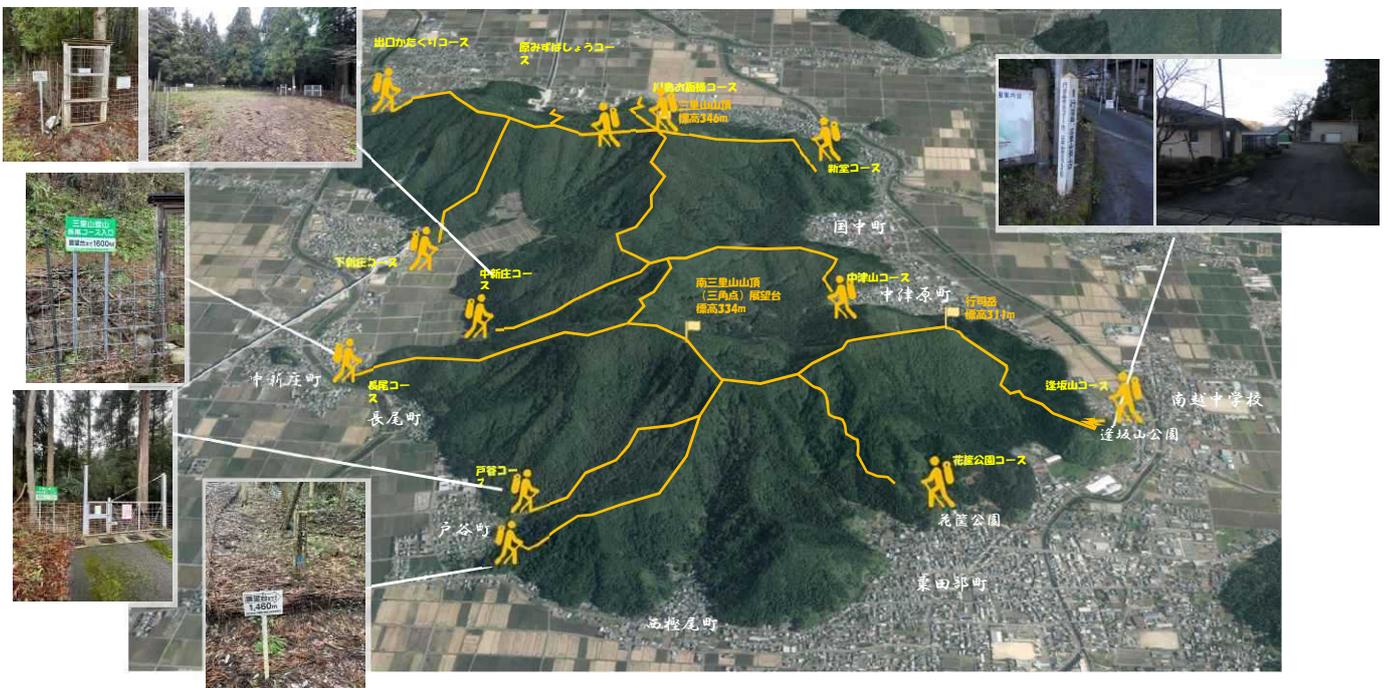
: 334m



周辺地図



モデルコース



三里山はこんなところ！



展望台から越前市街地を望むことができます

南側から望む三里山



てくてく三里山マップ



登山口から全山頂までは約6~7km 上り約3時間（往復約6時間）

三里山は、鯖江市と越前市にまたがっており、北側に山頂があり、南側に二等三角点や日野山や文殊山の行司役と伝えられる行司岳があります。厳密には、三里山（346m）、南三里山（334m）、行司岳（311m）の主な三つの峰からなっています。登山コースとしては、10箇所ほど存在しています。

南三里山、行司岳、三里山すべてを登頂するには、コース全長が6~7kmに及び、休憩なしで登っても3時間ほどかかります。自分の体力に合わせて登山コースを選定しましょう。それぞれの登山コースごとに歴史、植物等も様々です。

※花筐公園と逢坂山公園にはトイレがあります。

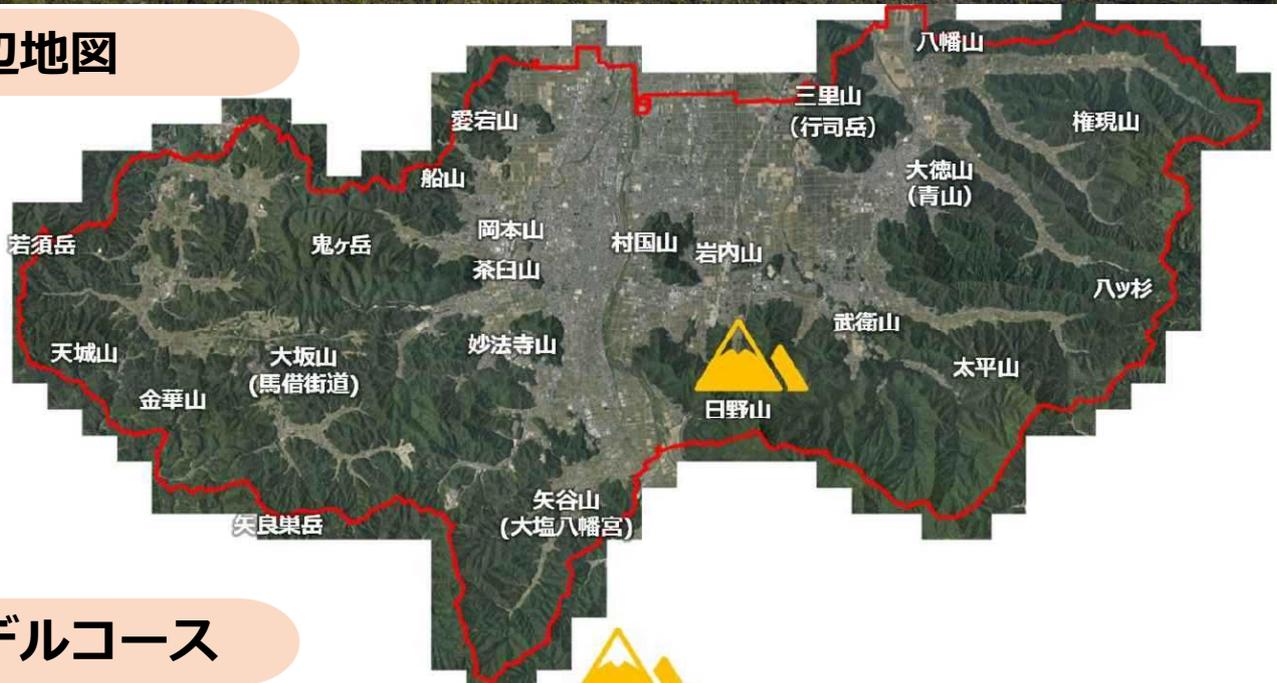


三里山は、田んぼや家並みに取り囲まれた山裾を一周すると3里あることから名付けられたといわれています。

ひのさん
日野山 (北日野地区) : 794m
(王子保地区) (味真野地区)



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

日野山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



登山風景



道中の看板

登山口から山頂までは 上り約2時間（往復約4時間）

越前市と南越前町の境に堂々と鎮座するのが、「越前富士」こと日野山です。日野山は、養老2年（718年）に泰澄大師によって開かれました。

日野山を囲む地区で毎年登山道等の整備を行っており、景観を含め良好な環境です。天候に恵まれれば、山頂から遥か彼方、白山も望めます。登るなら春もしくは秋がおすすめ。冬の時期の登頂も可能ですが、冬山の装備が必要になります。

登山口は全部で4箇所あり、西谷以外には駐車場があります。参考：ふるさと福井の山/宮本數男



歴史 | 紫式部の歌

ここにかく 日野の杉むら ^{うす}埋む雪 ^{おしお}小塩の松に けふやまがへる

（越前国府では、日野岳に群立する杉をこんなに埋める雪が降っている。都でも今日は小塩山の松に雪が降っているのだろうか、そんな景色が思い出される。） 紫式部公園 石碑より



越前に所縁のある継体天皇が皇子のころに登ったとの伝説があります。

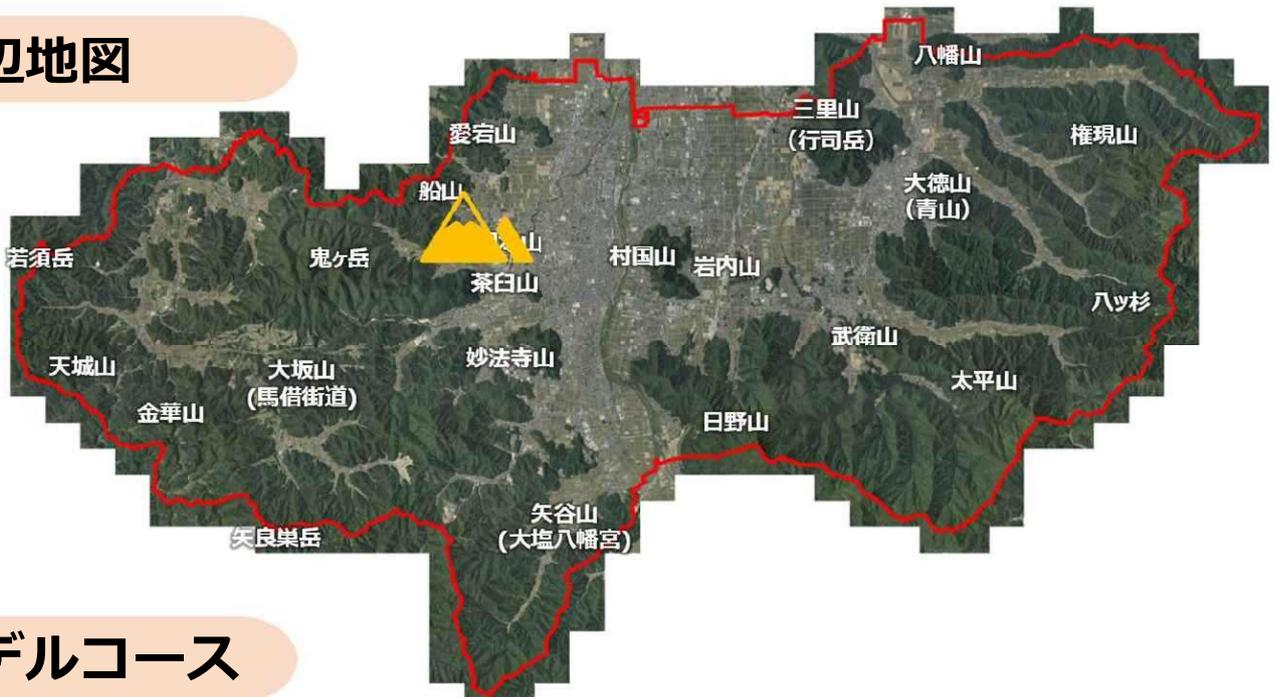
「ひ」を戴く山名は聖なる尊称といわれており、その昔、北国街道を往来した万葉歌人の歌や、芭蕉の奥の細道にも登場し、万葉の歌人や紫式部も歌を詠んだ歴史ある山です。

ちやうすやま
📍 茶白山 (西地区)

： 北頂106m・南頂135m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

茶臼山はこんなところ！



頂上の鐘つき堂の横から越前市街を望むことができます



小学生登山



登山口



駐車場 (沢町ふるさと会館)

登山口から山頂までは約550m

上り約15分 (往復約30分)



誰でも気軽に登れる里山です。頂上の広場からは西側から見る越前市街が一望でき眺めがよいです。

駐車場は登山口左手200mの沢町ふるさと会館をご利用ください。

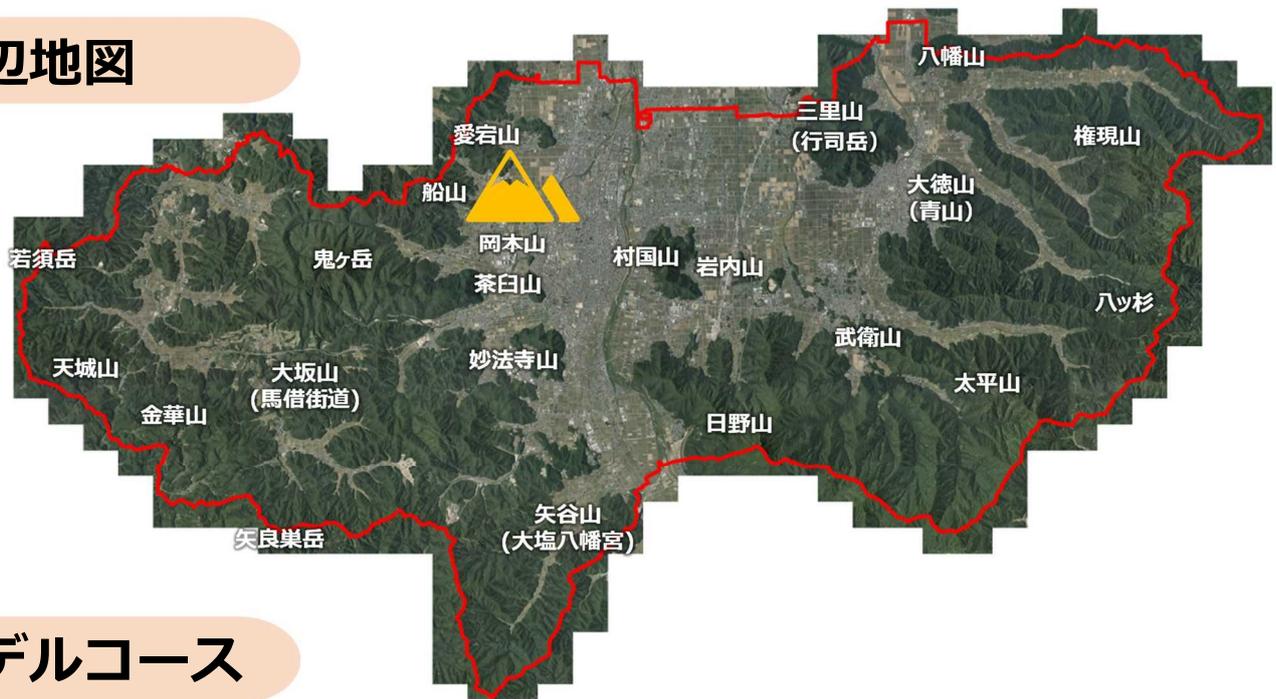


ラクダの背中のような形が特徴の茶臼山。15分で登れる北頂には金毘羅神社があります。茶臼山は全山古墳に覆われていてその数は大小合わせて100以上。昭和25年に慶応大学により行われた調査で横穴式石式古墳、竪穴式小石室古墳、直径50m余りの円墳と短刀・金環・黒漆塗り櫛・須恵器などが発掘され、昭和28年には県の文化財に指定されました。

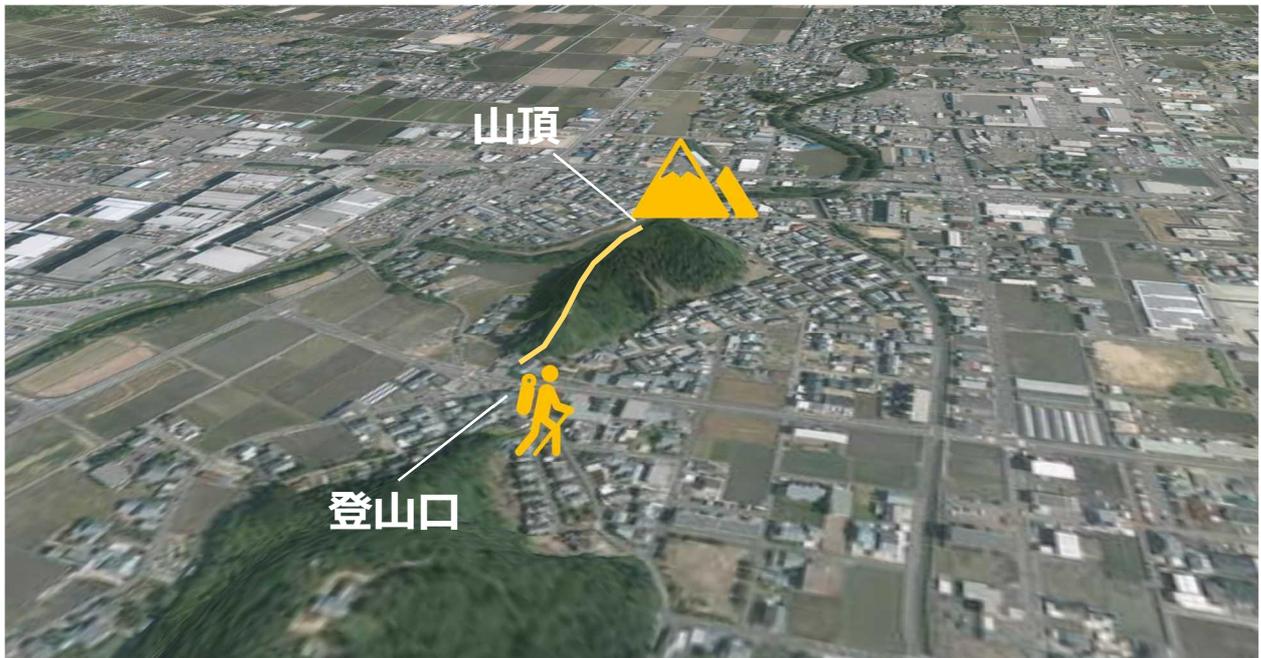
おかもとやま
📍 岡本山 (神山地区) : 83m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

岡本山はこんなところ！



山頂から岡本・大虫の田園風景を望むことができます



展望台のお堂



岡太神社



登山口

登山口から山頂までは約300m
上り約10分（往復約20分）



ふもとの神社から登山道を登ると中腹の展望台に西国三十三箇所の石仏を祭ったお堂があります。展望台からは市街地を一望することができ、正面には越前富士、日野山がはっきりと見えます。登山道の傾斜は緩く、道というより階段が多いです。春には桜で覆われ、夏には涼しい風も吹き、標高の低さも相まって夕涼み、花火見物で登るには最適な山です。



石仏



展望台からの景色



山頂広場



岡本山の北頂部に前方後円墳と隣接して方墳の2基の古墳があります。また、遺跡調査の結果、埴輪や須恵器の破片が確認されています。

（参考：岡本山古墳群他遺跡詳細分布調査報告書）

妙法寺山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



お地蔵さん



登山口



駐車場



登山口から山頂までは 上り約30分（往復約1時間）

越前市妙法寺町にある白山神社の南側に登山口があり、白山神社内に駐車場がありますが、そこに行くまでの道が急で狭いです。近くにある妙法寺町生活改善センターにも駐車場があります。

山頂までの登山道は、見失うことはありませんが、滑りやすいところもあるので注意が必要です。

※近くにトイレがないため登頂の際は注意しましょう。

参考：うるわしき神山/神山地区自治振興会
ふるさと福井の山/宮本数男
南地区自治振興会



特徴 | お地蔵さんが数多くあります。

登山道の脇には、たくさんのお地蔵さんが安置されています。
数えながら登山するのも楽しみの一つでしょう。



南北朝時代には、この妙法寺山に城砦が築かれ、南朝方脇屋義助軍の武将瓜生重・照兄弟が立て籠もり、北朝方の足利軍と対戦したと「太平記」に記されています。また、この城砦は1340年に落城したとされています。山頂からの眺めはよく、東側には日野山がそびえ、北東側には市街地と村国山があります。

船山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



頂上の地蔵



登山口

**登山口から山頂までは約450m
上り約10分（往復約20分）**

登頂にさほど時間がかからず、越前市街の眺望もよいため、地域に親しまれており、散歩感覚で登山することができる山です。

※近くに駐車場がありません。 路上駐車での登山はご遠慮ください。



参考：自然と歴史にふれあう大虫/大虫自治振興会

見どころ | 桜の花

桜の時期にはたくさんの桜の木が花を咲かせ、とてもきれいです。

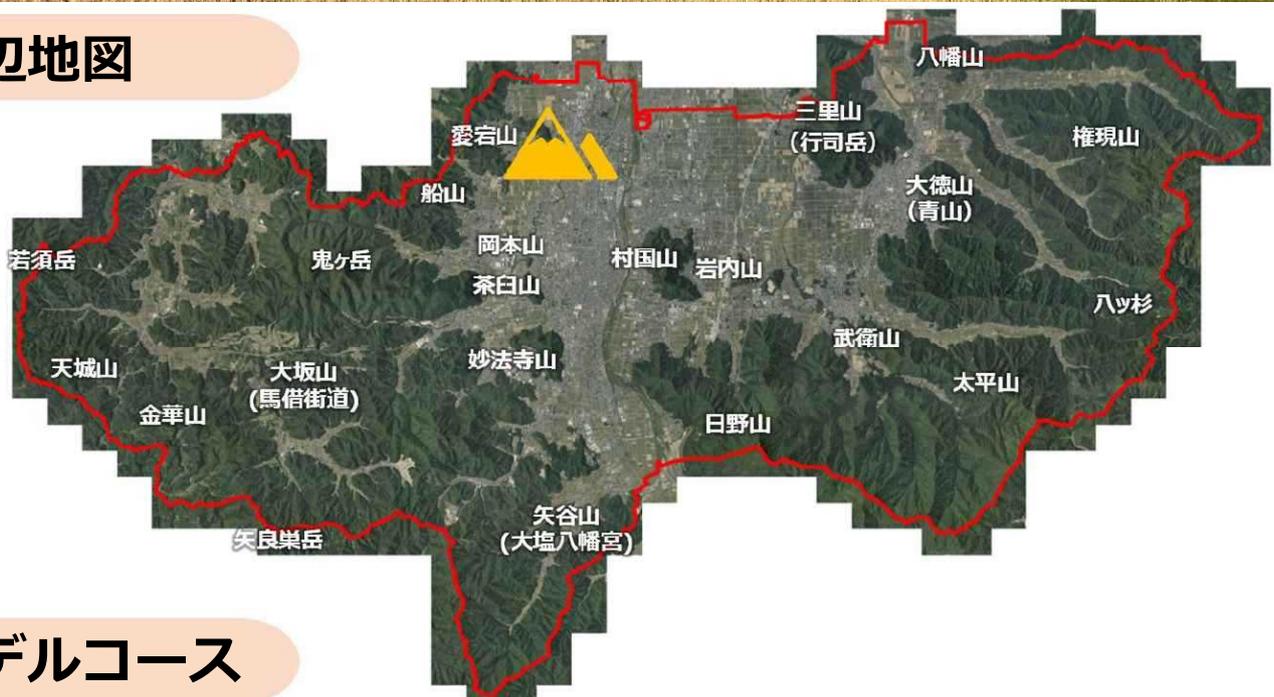


約1600年前の古墳時代中期、舟山の頂上に全長約52mの前方後円墳が作られました。頂上から武生盆地の日野川西部一帯が見渡せることから、この地域を治めた豪族の墓であろうと思われます。

あたごやま
愛宕山 (吉野地区) : 103m



周辺地図



モデルコース



愛宕山はこんなところ！



山頂から市街地と市街地の案内板



登山道が整備されており、登りやすいです



山頂の神社

登山口から山頂までは約850m
上り約20分（往復40分）

愛宕山は愛宕神社から山名が生じました。
本保山、糠鍋山、おむすび山などとも呼ばれています。
流紋岩や洪積層からなり、雑木林が茂り、カタクリの群生地や
よぶしの花などが楽しめる山です。頂上には、慶長年間に本多富正が
建立した愛宕神社が火難除けの社としてまつられており、勝軍地蔵とも呼ばれています。
登山の際は、丹南総合公園に駐車してください。

参考：あるこう魅力あふれる吉野/吉野自治振興会



見どころ | 桜の花

山頂には桜の木があり、登山で疲れた体を癒してくれます。

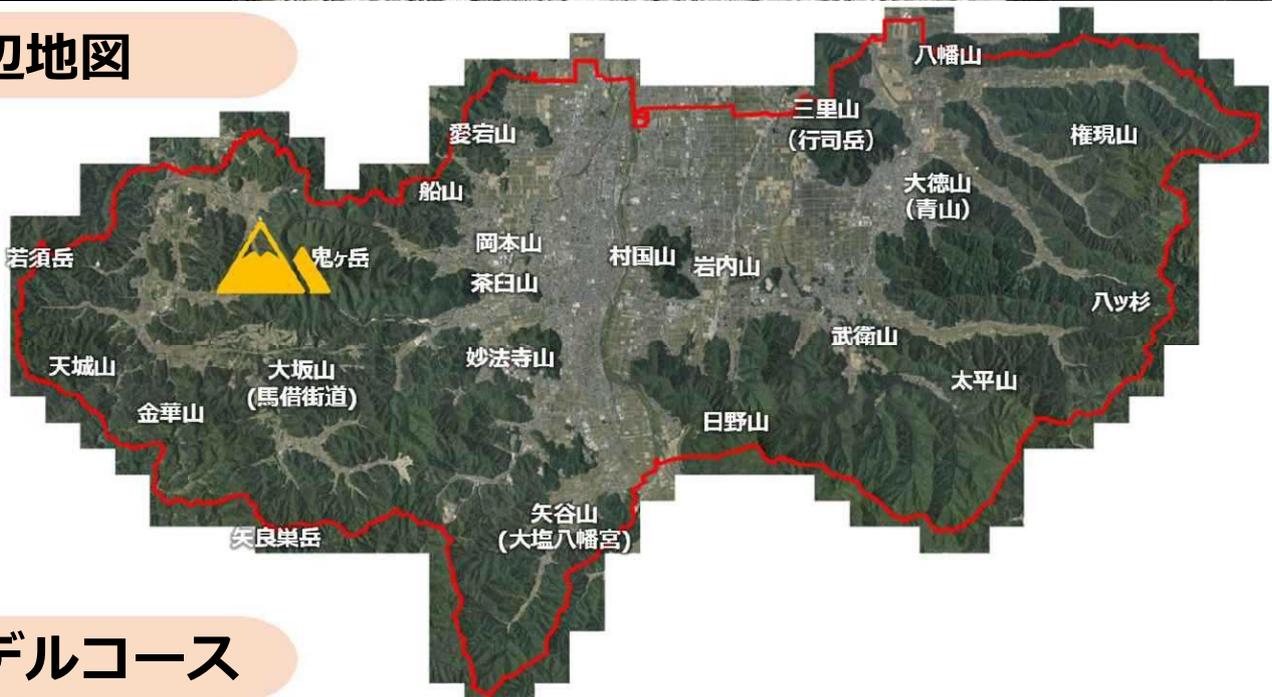


山一帯は、縄文時代からの複合遺跡が点在し、2基の前方後円墳を含む78基の方墳、円墳が現存しています。

おにがたけ
鬼ヶ岳 (大虫地区) : 539m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

鬼ヶ岳はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



火祭り



登山口



駐車場

登山口から山頂までは約1,500m
上り約1時間（往復約2時間）

越前市街の眺望が良く、平日でも登山者でにぎわっています。登山口には駐車場があり、気軽に車で来て、散歩感覚で登山することができます。山に入る際は、入り口の門扉をあけて入ります。また、靴の洗い場もありますので、下山してきた際には靴を洗えます。

※近くにトイレがないため登山の際は注意しましょう。

参考：中部北陸自然歩道越前市エリアマップ/福井県
自然と歴史にふれあう大虫/大虫自治振興会
福井県の山/宮本數男



行事 | 8月15日 鬼ヶ嶽火祭り

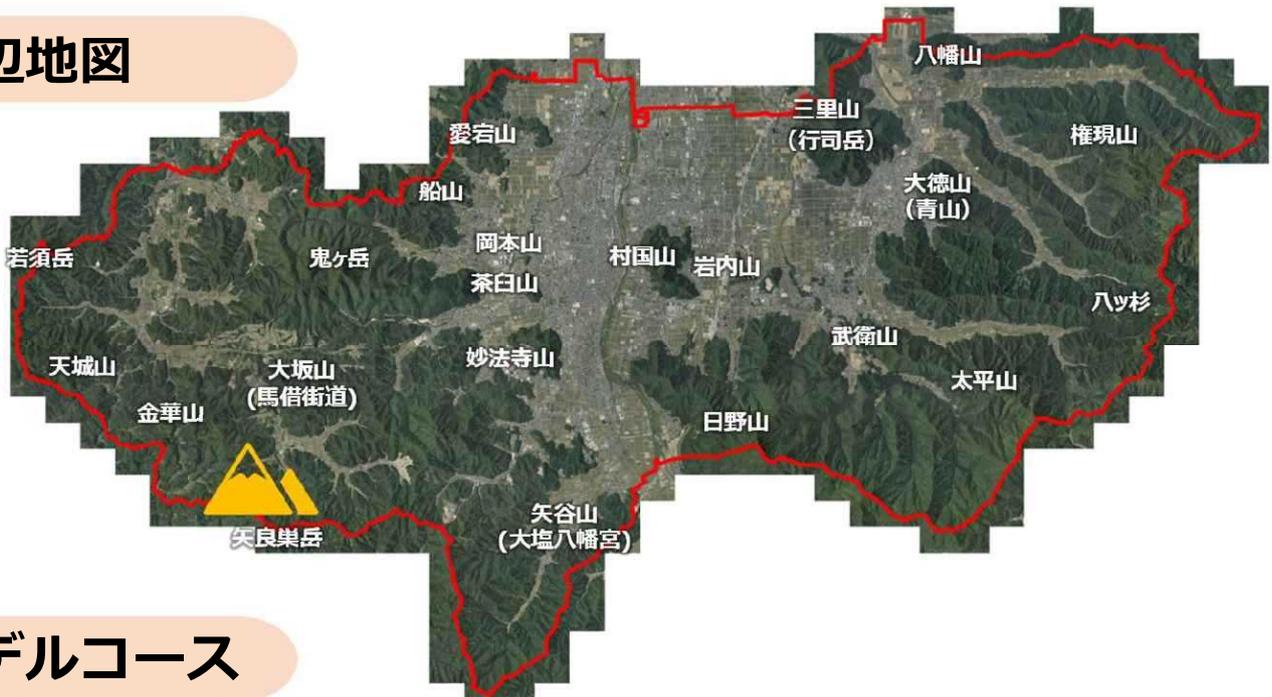
毎年、麓からたいまつを掲げて山に登る鬼ヶ嶽火祭り登山が行われています。



『その昔、この山（当時は丹生ヶ岳と呼ばれていた）には白い女の鬼が棲みつき、通行人を襲い、時には武生の町まで出没して荒らし回った。ある日、山から下りてきた鬼を発見した若者たちは今度こそ退治しようと、逃げる鬼を日野川の橋まで追い詰め、ついに首尾を果たした。この橋を白鬼女橋（しらきじょばし）と名付け、その際に山名を鬼ヶ岳に変えたという一』という逸話が有名です。



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

矢良巢岳はこんなところ！



山頂から海を望むことができます



子供たちの学習の場

アニメの世界に
入り込んだような山道



駐車場

登山口から山頂までは約1,600m
上り約1時間10分（往復約2時間20分）



エコビレッジの駐車場に車を置き、トイレを済ませてから歩かれる方もおられます。エコビレッジから下別所町の登山口までは歩いて20分ほどです。

県内で観察できる3分の2が冬鳥、夏鳥などの渡り鳥で占められていて、矢良巢岳は、希少な猛禽類を始め渡り鳥のルートになっています。シーズンになると「日本野鳥の会」や「日本鳥類保護連盟」の皆さんが、調査をされているのに遭遇することも。

アピールポイント|四季折々の動植物と眺望

登山道を進む途中には四季折々の動植物を目にすることができ、公園として整備された頂上は一等三角点の名に恥じず越前平野、日本海、敦賀湾や遠くに丹後半島が望見できます。

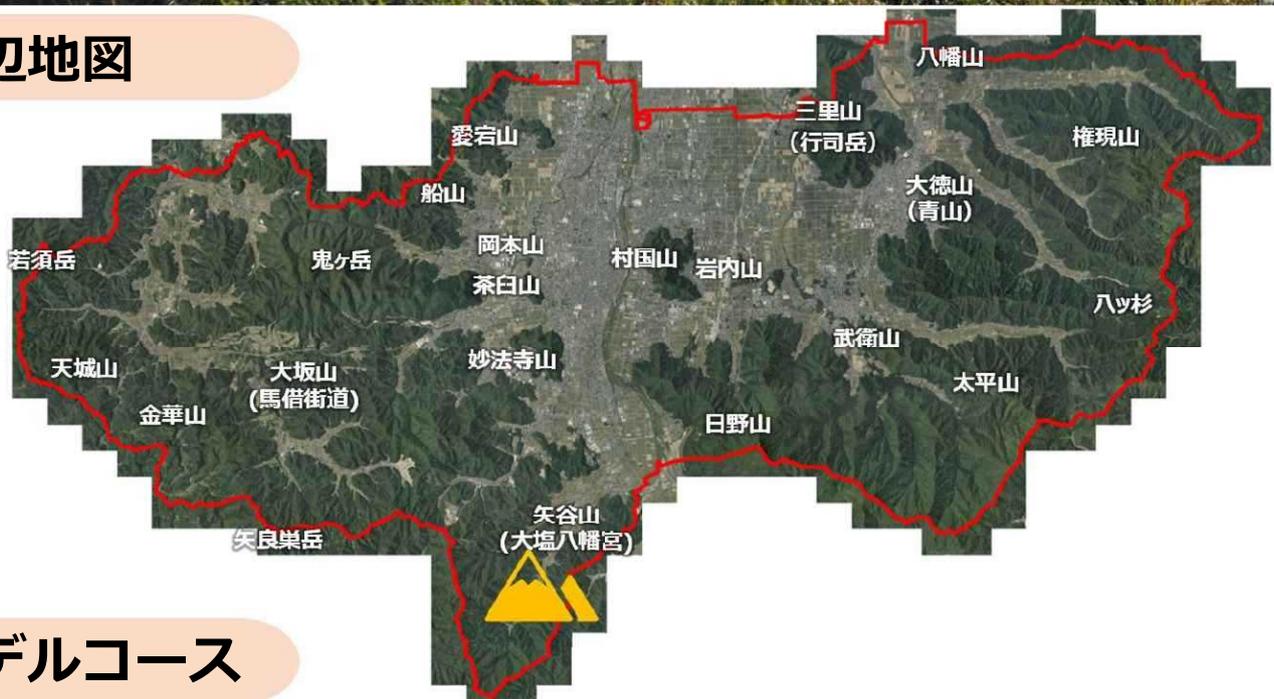


矢良巢岳は丹生山地の南に位置しており、全国に969点ある一等三角点の山です。一等三角点は地図作りの基点となる測量点で山好きの方の中には、一等三角点の山だけを目指すという人も多くはるばる遠方から登りに来る方も多い山です。

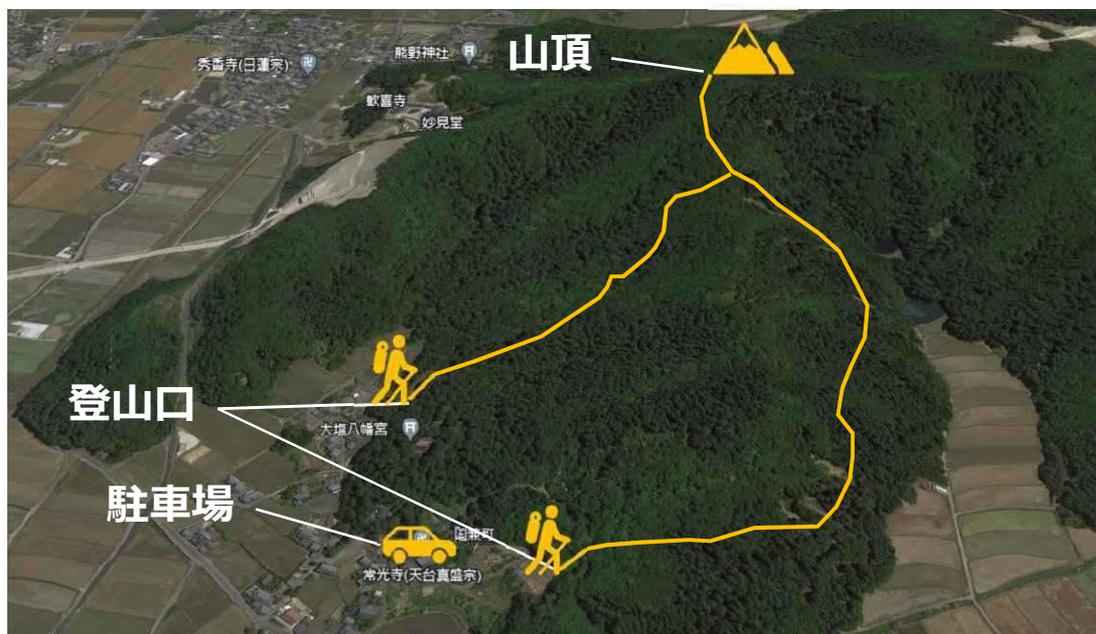
やだにやま
📍 矢谷山 (王子保地区) : 224m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

矢谷山はこんなところ！



展望広場から市街地を望むことができます



大塩八幡宮

堀切の跡

大塩山城址

駐車場

登山口から山頂までは 上り約50分（往復約1時間20分）

越前市国兼町にある大塩八幡宮の先に登山口があり、麓の国兼町生活改善センターに駐車場があります。山頂までの登山道は見失うことはありませんが、全体的に急峻で、滑りやすいところもあるので注意が必要です。

※駐車場に隣接するトイレがあります。



見所 | 歴史遺産が数多くあります。

登山道には、大塩山城址をはじめ、たくさんの歴史遺産があります。かつての出来事を思い描きながら登山するのも楽しみの一つでしょう。

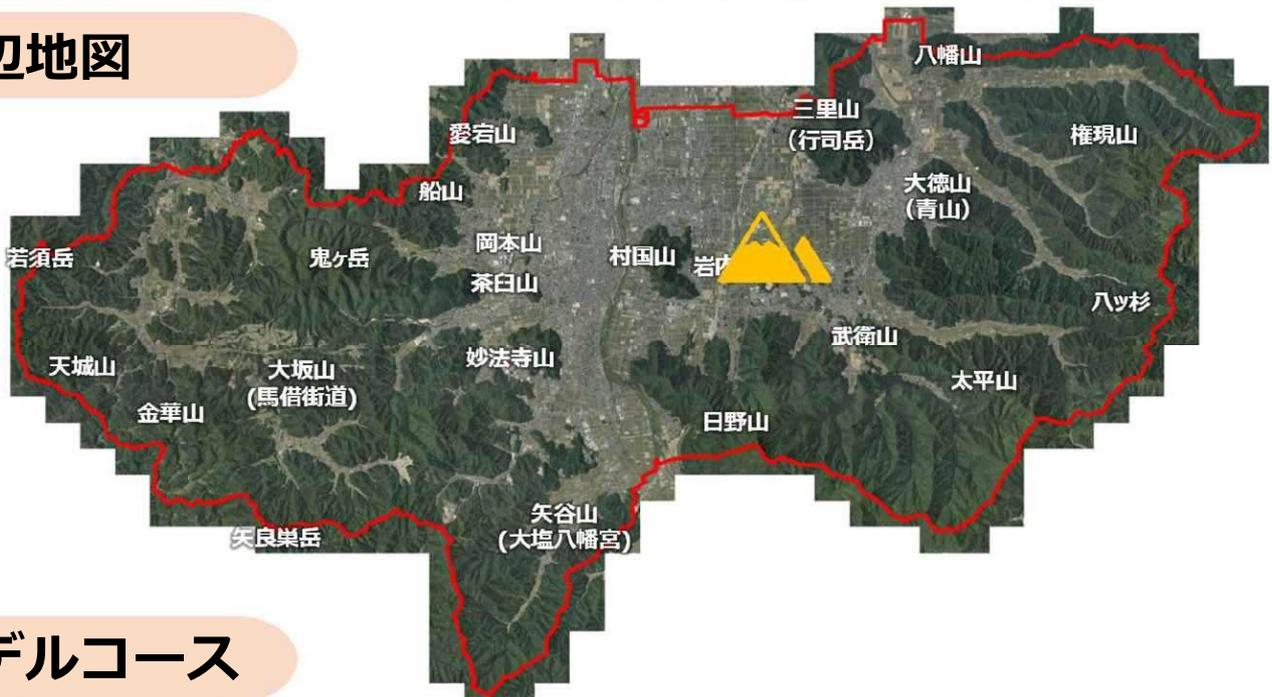


大塩山城は矢谷山城とも呼ばれ、越前市南部一帯の荘園、王子保に築かれた山城です。木曾義仲が京へ上る途中に陣を張った場所になります。また、寛平3（891）年に京都石清水八幡宮から勧請した大塩八幡宮は、その拜殿が国の重要文化財に指定されています。展望広場からは、越前市内や鯖江の西山公園まで見渡すことができます。

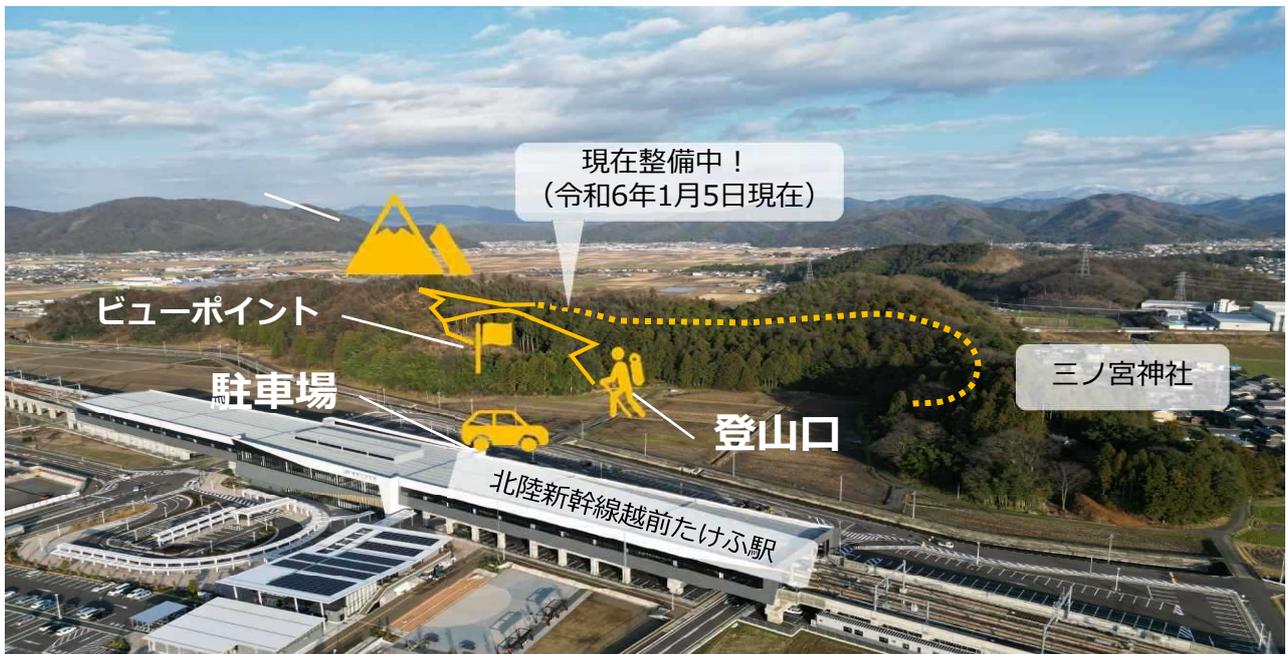
いわちやま
📍 岩内山 (北日野地区) : 94m



周辺地図



モデルコース



岩内山はこんなところ！



山頂から北陸新幹線越前たけふ駅を望むことができます



山頂



ビューポイント



登山口

岩内町・大屋町、杉崎町にまたがる丘陵 上り約15分（往復約30分）

北陸新幹線駅から登山口がすぐ近くにあり、ビューポイントとして整備されているため、登頂にさほど時間がかからず、気軽に登山ができます。越前たけふ駅東パーク・アンド・ライド（P&R）駐車場を利用いただき、北陸新幹線越前たけふ駅周辺をお楽しみ下さい。

※登山の際は、服装や天候、ハチ、ヘビなどに十分注意しましょう。



令和2年度から整備を行っています

岩内山は北陸新幹線が間近で見える二か所のビューポイントがあり、令和2年度から整備を始めています。地元の「岩内山を愛する会」が中心となって、日々手入れをしています。

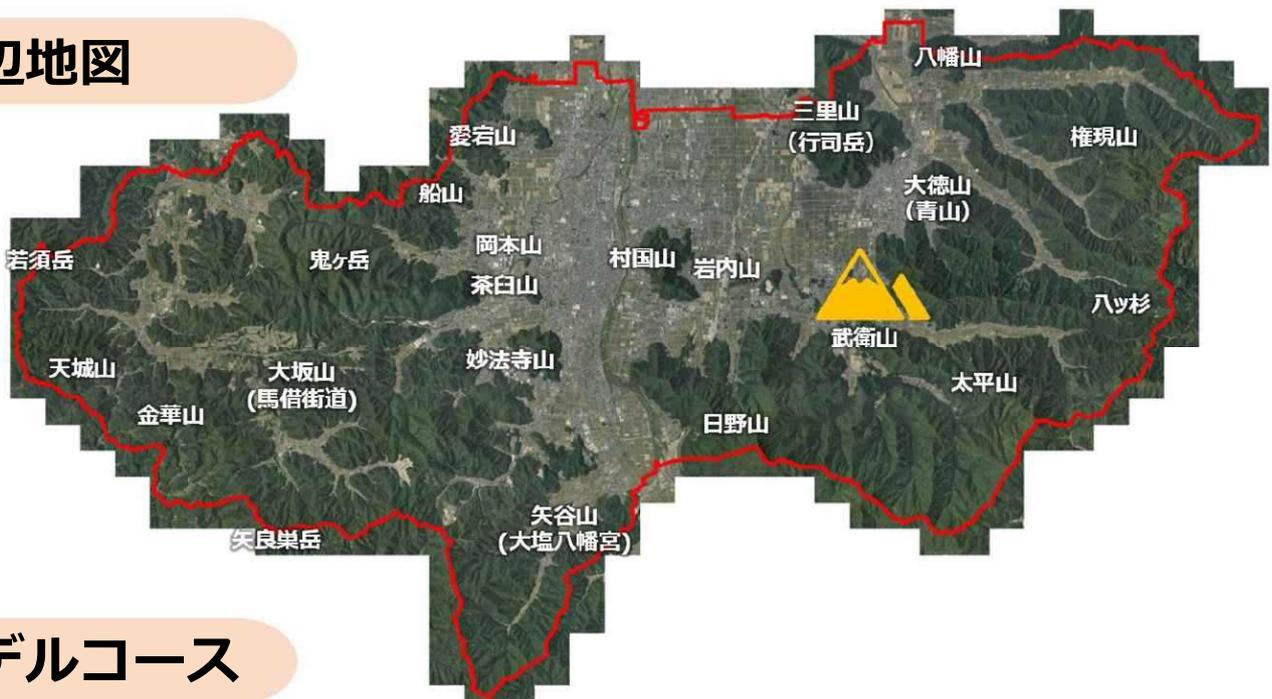


岩内山の尾根上には、大小51基の古墳群があり、岩内山周辺に広がる豊かな平野を基盤とした集落を治めていた人物が葬られていると考えられます。岩内山古墳群では、北陸自動車道武生インターチェンジ建設に伴う発掘調査が昭和48～49年にかけて行われ、古墳時代前期(4世紀代の古墳であることが判明しました)、岩内山の南には、古くから越前の人々の信仰を集めてきた日野山があり、日野山周辺には日野山信仰に関係する神社があり、岩内山の南側にある三ノ宮神社もその一つです。

ぶえいざん
📍 武衛山 (味真野地区) : 321m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

武衛山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



のろしりレー

小学生が作った案内看板

お山歩MAP

駐車場

登山口から山頂までは約2,000m

上り約1時間（往復約2時間）

味真野苑には登山口があり、万葉集ゆかりの和風庭園や飲食店も楽しめます。駐車場とトイレも完備しているので、気軽に車で行って散歩感覚で登山することができます。また、登山道は整備されていて歩きやすく、途中で休める展望ベンチもあります。山頂にはパノラマビューが設置されていて、絶景を楽しむことができます。

※味真野苑の駐車場トイレ近くの庭園に入ると、右側に小さな竹林があり、その近くに登山口の案内看板が立っています。



参考：武衛山お山歩MAP万葉の里味真野苑コース/
味真野自治振興会



行事 | のろしりレー

のろしりレーの舞台になっています。また、味真野自治振興会が登山道の整備・管理を行っています。

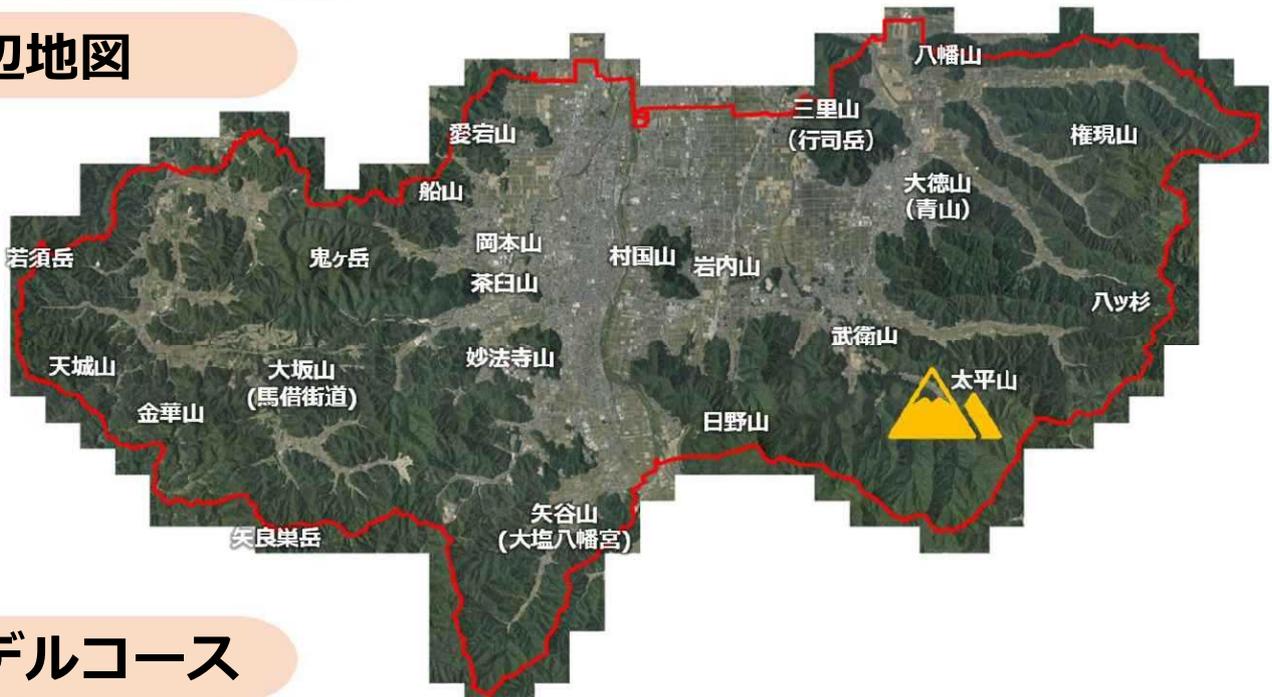


1470年ごろ（室町時代）に越前国守護の斯波義敏（しば よしとし）によって武衛山城が築城され、堀切や土塁が残っています。「武衛」とは、斯波家が室町幕府三管領筆頭の家格で、歴代当主は兵衛督、兵衛佐に命じられ、その唐名の「武衛」に因んで「武衛家」とも呼ばれたことに由来します

おおひらやま
📍 **大平山 (味真野地区) : 612m**



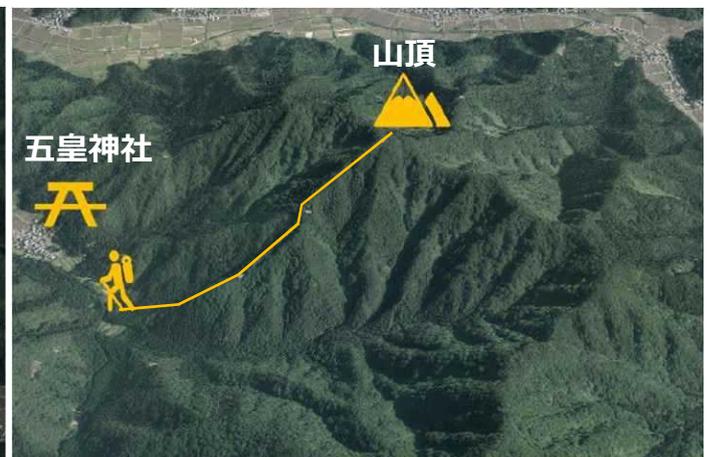
周辺地図



モデルコース



北側から



南側から

地理院地図を元に作成

大平山はこんなところ！



山頂から越前市街を望む



時水



駐車場

武衛山から縦走にて約1時間

山頂へは武衛山山頂から縦走することにより登頂できます。
また、延命長寿の験があることで知られる、
五皇神社のある山室町側から登頂するルートもあります。
急峻な登り道があるため、ペース配分はゆっくりしましょう。

※近くにトイレがないため登頂の際は注意しましょう。



見所 | 時水（ときみず）

大平山の中腹にある間歇冷泉で、山の窪みに、一定期をへだてて満水になり水が流れ落ちる現象です。現在では、不定期不定量で1日に約18回前後起こります。
間歇冷泉は全国で数例しか確認されておらず、極めてまれな自然現象です。
時水は福井県の文化財に指定されています。

参考：「福井の文化財」 https://bunkazai.pref.fukui.lg.jp/search_category/content?detail_id=559-0 福井県教育庁生涯学習・文化財課

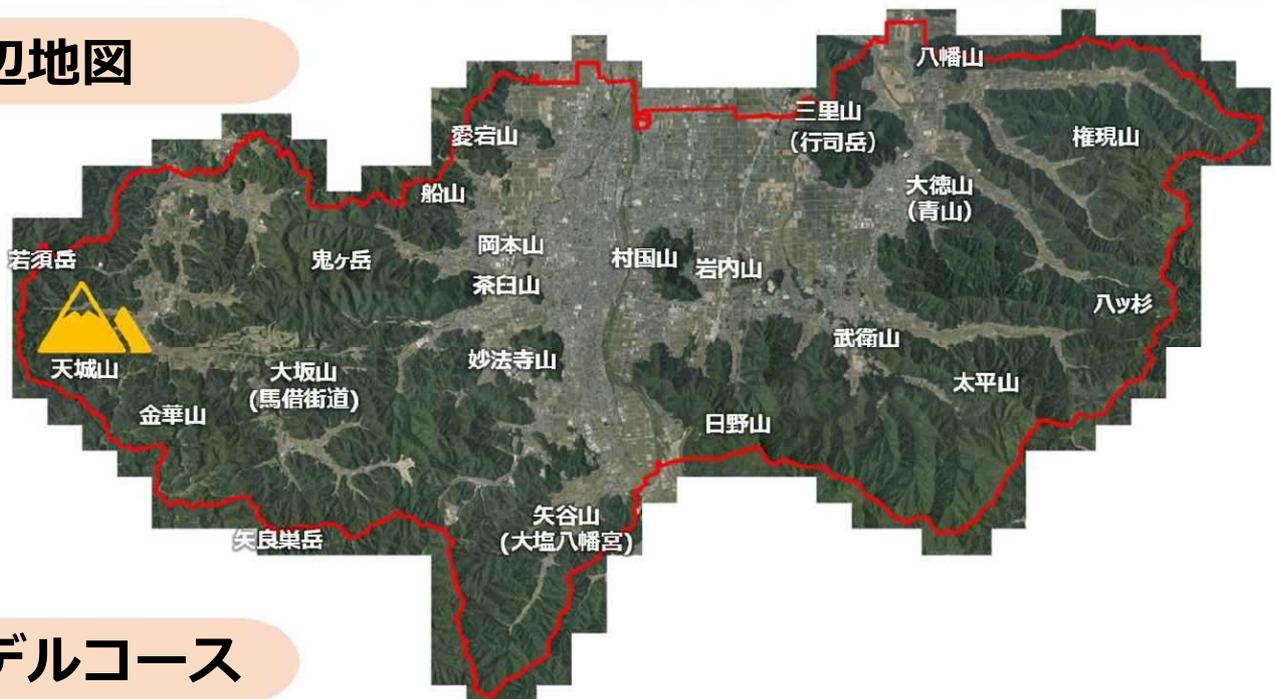


時水という由来は、昔山仕事をしている人たちが、約2時間に1回湧き起こる音を時計の替わりにしてきたという言い伝えからだといわれています。

てんじょうざん
📍 天城山 (白山地区) : 451m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

天城山はこんなところ！



山頂には看板が立っています



登山道整備の様子



山頂までの距離を示す看板



頂上付近から見える日本海

**登山口から山頂までは約2,500m
上り約1時間20分（往復約2時間）**



天城山は、伝えられるところでは658年（齊明天皇4年）蝦夷討伐の拠点として、さらにその後一足が駐屯したといわれています。糠浦や杉山集落から物資を担ぎ上げたとの伝承もあり、頂上には「城ヶ平」など城跡を思わせる地字名があり、大勢の人たちが暮らした形跡が残っています。

登山道は、菖蒲谷町の壮年会の皆様によって年二回の草刈り等の整備が行われており、大変登りやすいです。菖蒲谷町集落センターに車を停めて登山することができます。

アピールポイント|天城山ウォーク

毎年11月ごろに、「天城山ウォーク」というイベントが開催されており、数十人規模で天城山を登っています。下山後は同日に開催されている「金華山グリーンランド秋の感謝祭」の会場に移動し、地元特産品の購入などができます。

「天城山ウォーク」についてはしらやま振興会（0778-28-1045）

「金華山グリーンランド秋の感謝祭」については金華山グリーンランド（0778-28-1149）へお問い合わせください。



天城山ウォークの様子



しらやま振興会HP

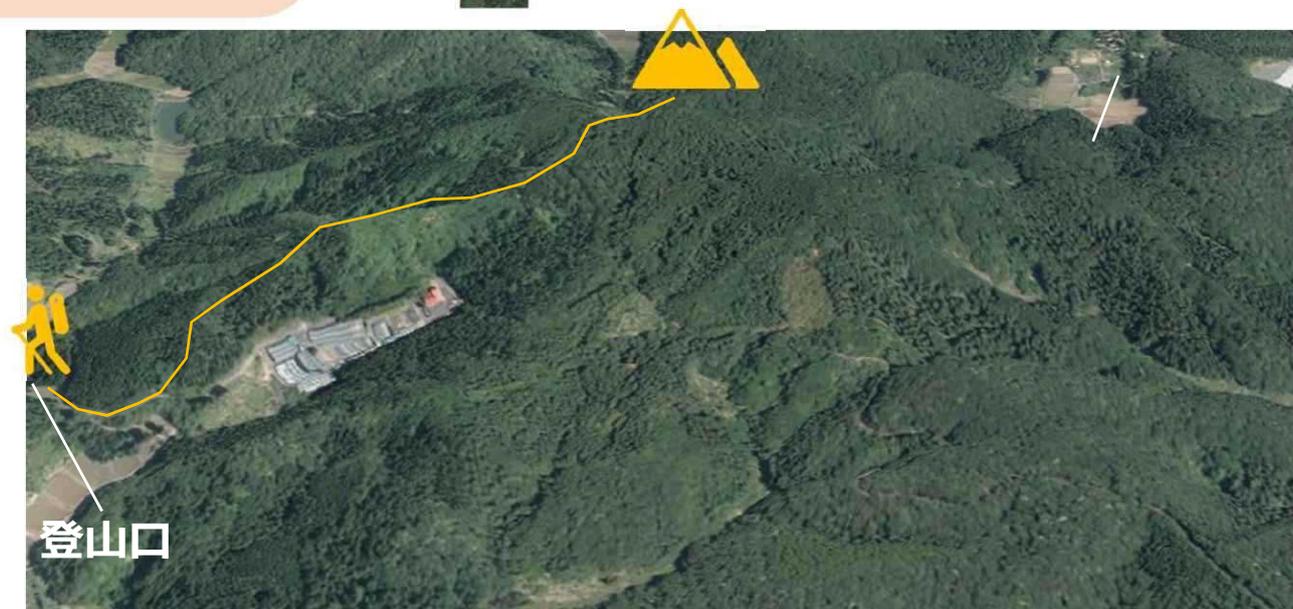
きんかざん
📍 金華山 (白山地区) : 398m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

金華山はこんなところ！



頂上の三角点



頂上からの眺望



秋の感謝祭



登山口

金華山グリーンランド

登山口付近には金華山グリーンランドという施設があります。ここでは、コテージやバンガローでの宿泊やキャンプができます。（オートキャンプも可能）バーベキューハウスや温水シャワーもあり、充実したキャンプを楽しめるでしょう。追加料金2,000円を払えば、キャンプファイヤーをすることもできます。

また、毎年11月ごろには「金華山グリーンランド秋の感謝祭」が行われており、地元産の野菜の販売等、様々なイベントが行われています。

詳しくは金華山グリーンランド（0778-28-1149）へお問い合わせください。

金華山グリーンランドHP



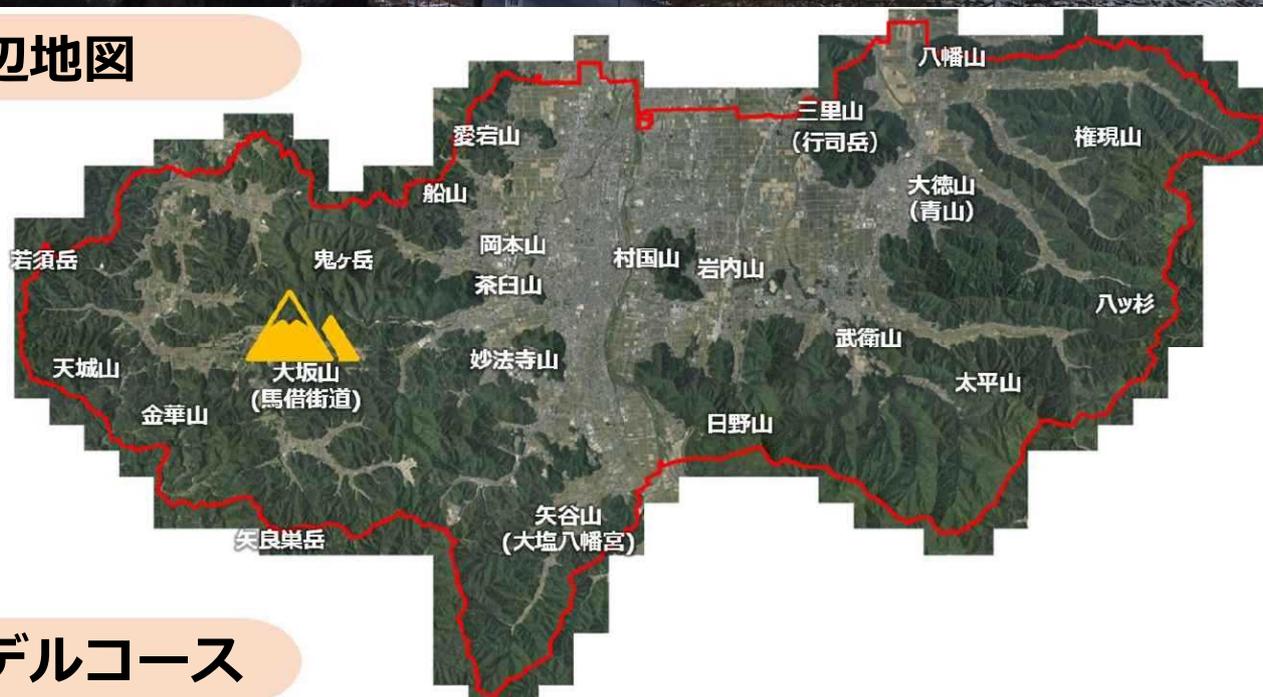
「昔、奈良時代末期、光仁天皇の王子、万能華親王が兵乱を避けて従者と共に北陸の地に逃れ、隠れ家を丸岡の南、中山へ越す峠の堂津端という地に定め追手や土賊の襲撃に備えて所々に見張り所を設けて身の安全を図った。この高い山を「君を隠した山」と呼び。その後、「君隠し山」「金華月山」「金華山」となったとも言い伝えられている。

（引用：ふるさと白山 武生市合併五十周年記念誌）

おおさかえやま
📍 **大坂山 (神山地区) : 310m**



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

大坂山はこんなところ！



展望所より一望できる山々と山頂の案内看板



歴史と遊ぼう馬借街道in神山



地元の方による登山道の整備



駐車場

登山口から山頂までは約310m

上り約30分（往復約1時間）

登山口の手前に広々とした駐車場がありますが、トイレはありませんのでご注意ください。



下中津原町側、広瀬町側どちらからでも登れます。馬借街道と呼ばれる古道を進みながら豊かな自然に囲まれつつ歴史に思いを馳せる登山が楽しめます。

行事 | 5月3日 馬借街道

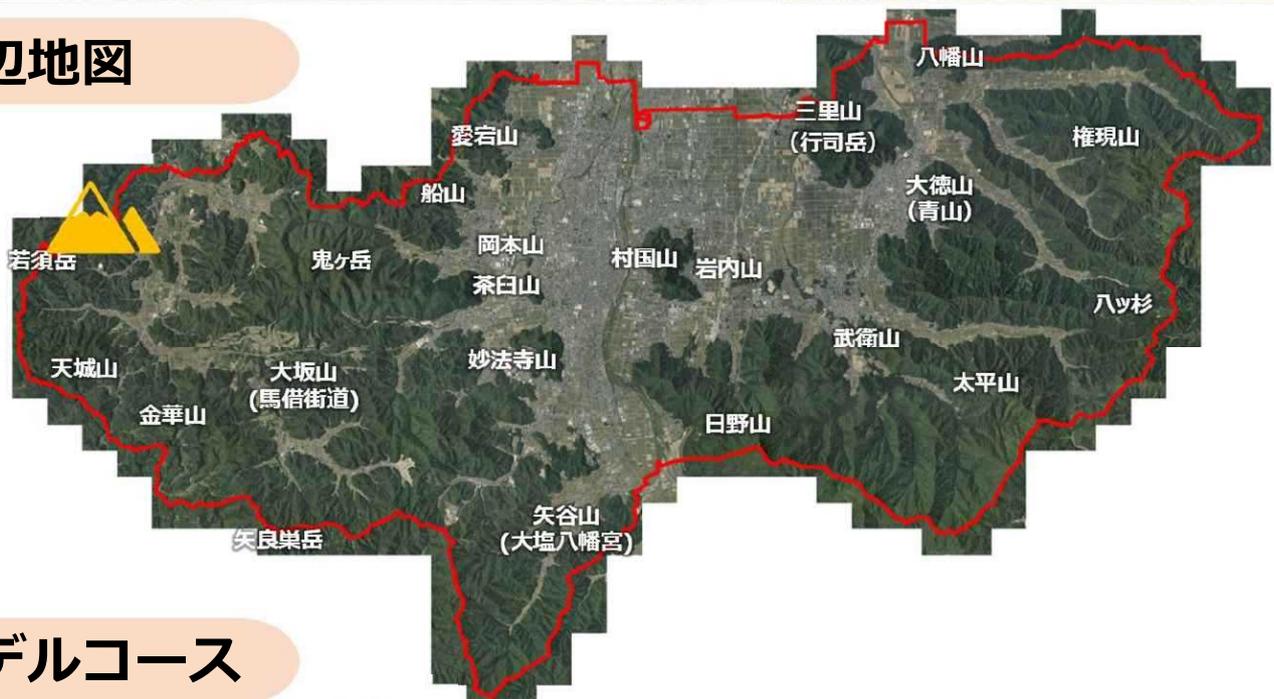
毎年、『歴史と遊ぼう馬借街道in神山』というイベントを行っています。興味のある方は詳細を神山自治振興会（0778-23-8010）までお問い合わせください。



奈良の都ころに北陸道が整備されましたが、京に向かうには南条の険しい山々を超える必要がありました。馬借街道は船で敦賀より河野浦へ出て、現在の坂口、広瀬を通して府中（武生）に出られるためそういった山々を越える必要がなく物資輸送の面や軍事面で鎌倉時代や室町時代にも整備が行われました。



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

若須岳はこんなところ！



山頂から望む白山地区
コウノトリが舞う様子が見られるかもしれません



登山道途中の休憩ベンチ



登山口



駐車場

登山口から山頂までは約3,000m
上り約1時間40分（往復約3時間20分）



白山盆地を見下ろす山々の中で盟主ともいえる存在です。コウノトリが舞う美しい白山地区を見守る象徴として、地元の人々に愛され大切に保全されています。山頂に登ると、白山（はくさん）や日本海など360度見渡せる圧巻な景色が眺望でき、幸運な方はひなが誕生する6～8月に野生のコウノトリの姿がご覧いただけるかもしれません。

行事

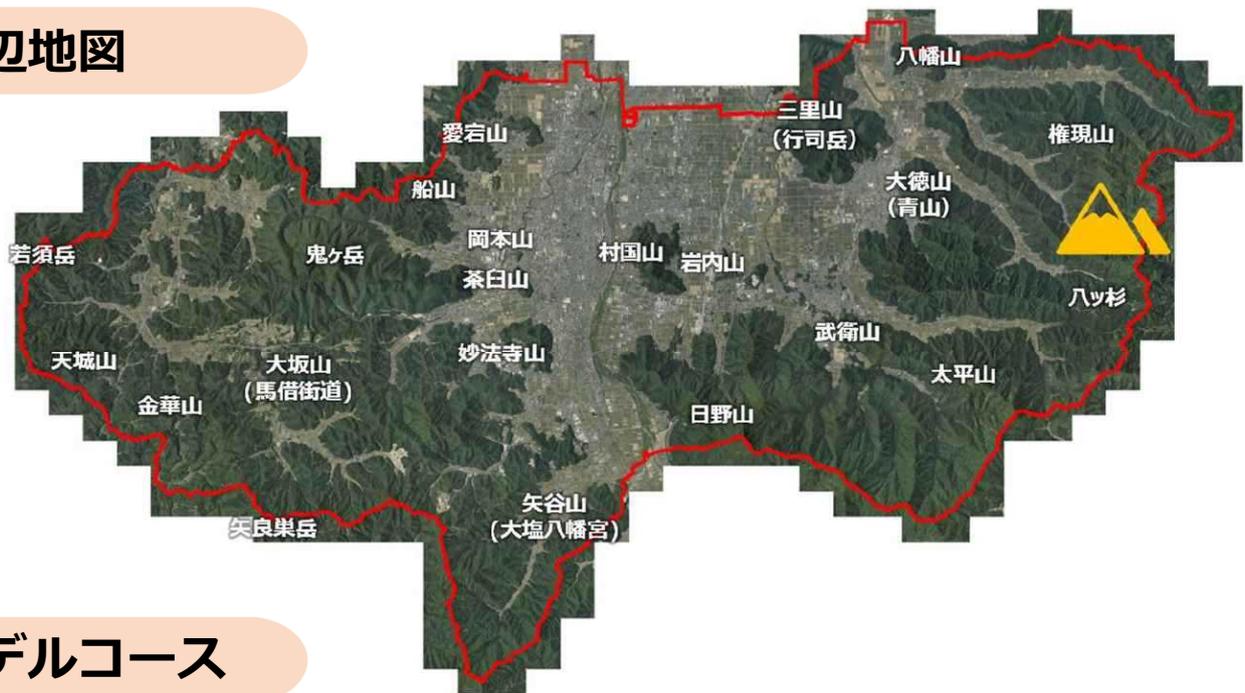
コウノトリなりきりツアー（4月～11月）を開催しています。ご興味のある方はしらやま振興会（TEL:0778-28-1045）までお問い合わせください。



昔、百濟のお姫様が流れ着いて干飯（かれい）を炊いたと言われており、そのお姫様が山越えをした白山の盆地は山干飯盆地と呼ばれています。



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

ハツ杉はこんなところ！



ハツ杉森林学習センター



講座の開催



まき割体験



ハツ杉森林学習センター

越前市東部に位置するハツ杉の森で、自然を満喫しながら散策や森林浴を楽しむことができます。また、森の家やバンガローでの宿泊やキャンプ、施設内で木工体験やピザ焼き、BBQ等ができます。その他、天体教室やヨガ、草木染め等、色々な自然体験・環境学習のプログラムを開催しており、森林空間で様々な癒しの活動を楽しめます。



ハツ杉の名称については、昔、山上に大きな寺があり、毎日ハツ（午後2時）過ぎにゴーンと鐘が鳴ったので、「ハツスギ」と名付けられ、それがハツ杉になったと伝えられています。

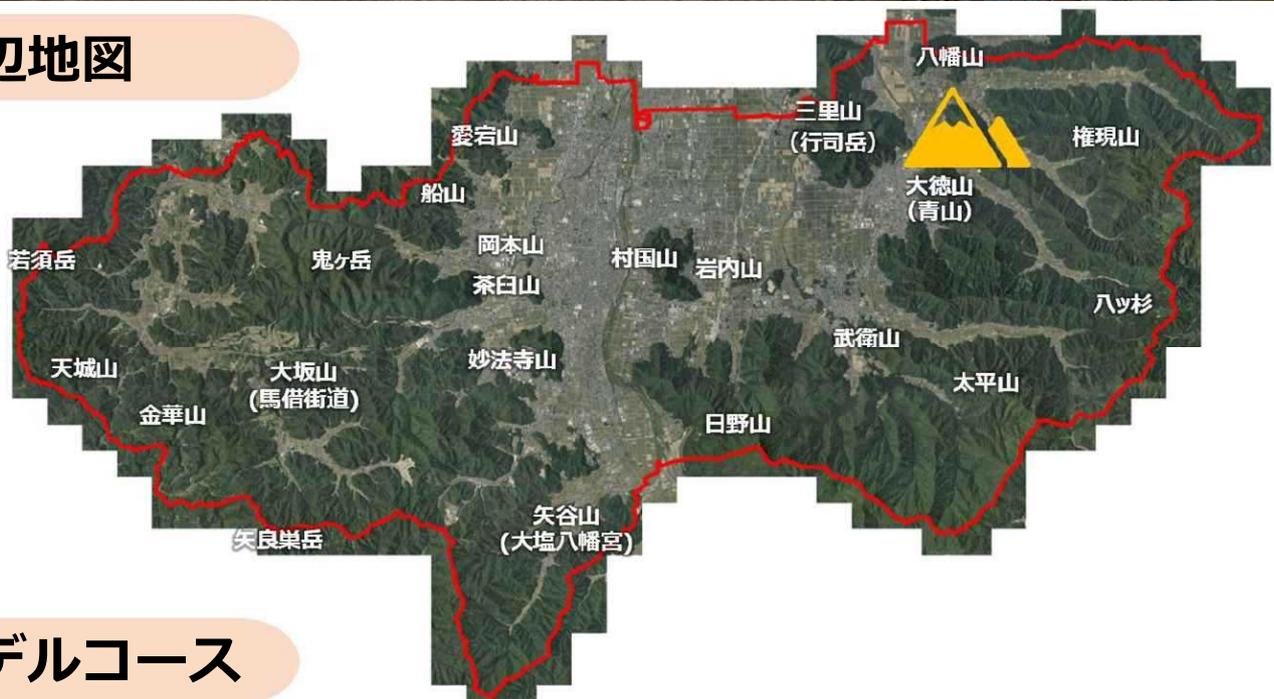
ハツ杉権現の建立時期については、弘長2年（1262）（内田藤右衛門家記録）となっており、覚念が別印に日円寺の前身寺（＝妙法蓮華経庵）を建立した時期とは大差がなく、ハツ杉権現とは深い関係を持っていたことがわかります。また、同家記録には、興国2年（1341）にハツ杉権現炎上と記され、興国6年（1345）の日円寺に安国寺、利生塔が建立された時期と近接しており、ハツ杉権現跡から発見された「至徳元年（1384）銘の“石龕（せきがん）”と日円寺旧跡より発見された「至徳3年」（1386）銘の墓碑との関係は、いよいよその密接な内容とその存在を明らかにするといえましょう。

ハツ杉権現は、林間広場の奥に祀られています。

大徳山 (岡本地区) : 327m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

大徳山はこんなところ！



大スギ



大瀧城本丸跡



青山登りで賑わう大スギ広場

5つの神社に登山口が位置する 上り約30～50分（往復約2時間）

地元では、主に「お峰」と呼ばれています。

山頂付近に「大スギ広場」があり、福井県指定の天然記念物である大スギや、大瀧城本丸跡があります。また、同広場は青山登りで憩いの場として使われています。登山口は大徳山のふもとに位置する5つの神社にあり、駐車場もあります。登山道には神社にまつわる数多くの石標と、約60種の樹木で四季折々の様子を楽しむことができます。

大瀧神社と月尾神社から登ると様々な名勝を見ることができます。



行事 | 青山登り

江戸時代、五箇の祭り（神輿渡り）の次の週に、女人禁制を解き、村人が山に登って宴を開いたことが現在まで受け継がれ、緑の芽吹く山に登ることから「青山登り」と言われています。



大徳山のふもとにある大瀧神社は日本で唯一紙の神様（川上御前）を祀る神社です。五箇地区では、毎年5月3日から5日にかけて、和紙の里祭りが開催され、神輿を担いで奥の院まで紙の神様を送り迎えするという行事があります。（お上り、お下りと呼ばれる）

ごんげんやま
📍 権現山 (服間地区) : 562m



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

権現山はこんなところ！



山頂から月尾集落を望むことができます



山頂広場



山中にある布滝



登山口

**登山口から山頂まで約2000m
上り約1時間半（往復約3時間）**



柳の滝「不動滝」「お釜滝」「布滝」「窓滝」「夫婦滝」を眺めながら登山ができます。登山道も整備されており、ふくま自治振興会が毎年草刈りを行っているためとても登りやすいです。また、登山口から車で5分程度のところに小次郎公園があり、登山で疲れた足をいやせます。（駐車場、トイレ有り）



剣豪・佐々木小次郎の生家といわれる高善寺が近隣にあります。小次郎は柳の滝で剣の修行をしたといわれています。佐々木小次郎は幼名を小六（ころく）といい、ある場所の岩壁には小六と刻まれています。

参考：柳の滝観光パンフレット



はちまんやま
📍 **八幡山 (服間地区) : 229m**



周辺地図



モデルコース



地理院地図を元に作成

八幡山はこんなところ！



山頂（越前市側）



山頂にある電波塔



朽飯八幡神社



朽飯坂峠に鎮座する地蔵

登山口から山頂までは約1,000m
上り約30分（往復約1時間）



朽飯の集落からは「天引部山」と呼ばれていましたが、集落内にある朽飯八幡宮から「八幡山」と呼ばれるようになったそうです。

八幡宮には織物の神様が祀られており、源範頼ともゆかりのある由緒ある神社です。

※駐車場がないため、登山の際は注意しましょう。



西部の赤坂集落付近は「松明山古墳群」となっており、鏡、剣、玉飾の三種が発掘されるなど、当時の高い文化がしのべれます。

森林拠点紹介①

ハツ杉森林学習センター

越前市東部に位置するハツ杉の森で、自然を満喫しながら散策や森林浴を楽しむことができます。

また、森の家やバンガローでの宿泊やキャンプ、施設内で木工体験やピザ焼き、BBQ等ができます。その他、天体教室やヨガ、草木染め等、色々な自然体験・環境学習のプログラムを開催しており、森林空間で様々な癒しの活動を楽しめます。

【施設】

- 森の家
- 八角堂
- 創造庵
- BBQハウス
- バンガロー 6棟
- 林間広場

【料金】

- 森の家宿泊 | 2,100円～
- バンガロー 1棟 1泊 | 2,100円
- キャンプサイト 1区画 1泊 | 500円
- どんぐりハウス(BBQ) | 1,000円～



森林拠点紹介②

金華山グリーンランド

越前市西部の山中にあり、自然とのふれあい、健康づくり、森林の多角的活用を目的としています。

コテージでは別荘感覚で宿泊ができ、バンガローでの簡易宿泊やキャンプもできます。また、山道や林間広場で散策や森林浴、BBQを楽しめます。なお、展望台からは日本海を望むことができ、壮大な自然を満喫できます。

【施設】

- 管理棟
- 休養施設
- コテージ4棟
- バンガロー10棟
- 林間広場
- BBQハウス
- 展望台

【料金】

- コテージ1棟1泊 | 15,700円
- バンガロー1棟1泊 | 2,100円
- オートキャンプ1区画1泊 | 2,200円
- テントサイト1区画1泊 | 900円
- BBQ（焼肉台）1台 | 1,200円



地域の皆さまが山で活用できる支援制度

森林環境譲与税事業

○小規模森林間伐促進事業（間伐材生産）

国県の補助を得られない小規模な森林の間伐費用を補助します。
間伐に必要な作業道の整備を含みます。

○小規模森林間伐促進事業（不用木撤去）

山際で倒れる危険のある樹木の伐採費用を補助します。

○小規模森林間伐促進事業（災害復旧）

災害で被災した作業道等の復旧費用を補助します。
路面の洗堀のみの復旧は「森林作業道修繕事業」になります。

○木育環境整備事業

施設の木質化（壁、床等）に対し補助します。
木製調度品（おもちゃ含む）の購入に対し補助します。

○林道維持活動支援事業

集落が管理する林道の維持活動に対し補助します。
（草刈り・側溝泥上げ・路面舗装から2項目以上を実施）

○森林作業道修繕事業

既設作業道の路面整正に対し補助します。

その他

○森林・山村多面的機能発揮対策交付金

集落が組織する活動団体が森林を管理する活動に対し交付金を交付します。交付期間は3年間です。

※詳細は農林整備課までお問い合わせください。

- 森林環境譲与税を活用して令和6年度中に新たに設計する制度もあることから、このページの完成は令和6年度を予定しています。

森林・林業マスタープラン
チャレンジプロジェクト

令和6年3月

越前市

チャレンジプロジェクト

1 チャレンジプロジェクトとは

森林・林業マスタープランにおけるチャレンジプロジェクトとは、令和6年度から令和8年度の3年間で集中的に実施する事業です。その内容は、森林環境譲与税基金を活用し、市民の皆さまに山に興味を持ってもらうための挑戦的な事業です。チャレンジプロジェクトにより戦略的に選択した地域でその取組みをモデル化し、他地域への展開を図ります。

プロジェクト1

身近な森林でのレクリエーション ～遊んで楽しむ森林、森林整備～

越前市には魅力的な山が数多く存在しますが、その中でも市中心部にその存在感を示す村国山は、越前市のシンボルと言えます。日野川と合わせ、市の中心部に位置する村国山は、市の都市と自然との調和を端的に表現しています。

村国山の北西部に位置する芦山公園は、日本最初の林学博士である本多静六氏の設計であり、昭和33年に総合公園として都市計画決定をしました。

例年、国高地区自治振興会主催による「三世代による村国山清掃事業」が行われ、武生第三中学校の生徒も参加するなど、地域からも愛されている山です。



三世代による村国山清掃事業

地域にあるさまざまな山々において、各地域自ら山を守り、保全する取組みがなされています。一方で、地域の高齢化が進む中で、地域だけでは保全が困難になってきている現状があります。

地域とのヒアリングの中で、地域自らが実施する山守(やまもり)の支援について意見

をいただきました。伐採した竹木の処分に困っており、ウッドチップの導入もしくは貸出に対する支援です。また、地域自らでは実施が困難であり、事業者に業務を発注するような内容への支援についても意見をいただきました。具体的には、チェーンソーを使うような、危険を伴う専門性の高い内容です。また、視点場の整備や登山道、遊歩道の維持といった、市民の皆さまが山に触れあえる機会を創出するために必要な事項についても、意見をいただいたところです。



村国山の園路



村国山のビューポイント



ウッドチップパーで粉碎して敷材として散布

毎年生えるため置場に困る竹

このプロジェクトでは、市が直接管理する村国山の芦山公園において、歩きたくなる自然空間を再整備し、良好な森林景観を創出し、森林環境を保全することで、山の活用を推進します。また、村国山において森林環境譲与税の活用範囲を明確にし、森林環境譲与税を活用した地域が使いやすい支援制度を構築します。つまり、市のシンボルである村国山から始めますが、森林環境譲与税を地域に還元し、各地域において森林に触れあう機会を創出することがこのプロジェクトの目的です。

■プロジェクトの具体的内容

村国山の再生

自然空間の再整備、森林景観の創出

地域が使いやすい支援制度の構築

地域が自ら行う山守支援

ウッドチップの導入、もしくは貸出に対する支援

地域が事業者が発注して実施する修景や安全管理に対する支援

木の伐採、植樹、視点場整備といった修景

登山道、遊歩道の安全管理

プロジェクト2

おいしくいただく森林資源

～食べて楽しむ森林、森林整備、収入原としての森林～

市民の皆さまと森の距離を近づけるための、森林を食べようというプロジェクトです。一つは、山菜をいただくための農福連携のプロジェクト。また、毎年生えてくるため、地域では厄介者扱いされがちな竹をメンマにし、食材として活用しようというプロジェクトです。

(1) 山菜で農福連携プロジェクト

かつて山菜は、人々に春の訪れを知らせると共に、冬期用に備蓄した食料が減る中で貴重な食糧源でもありました。現在では、食の多様化と保存技術の進化により、山菜を食べる機会は減少しています。その一方で山菜が希少化したということもでき、各地の道の駅では高値で取引されている事例も見受けられます。

市では、令和5年度に農福連携により山菜の販売に取り組みました。地域の方々が山菜を採取し、JA越前たけふが集荷を行い、福祉事業所が分別と包装を行い、しきぶ温泉湯楽里において販売するという事業です。

令和5年度は実証実験の意味合いがありましたが、令和6年度から令和8年度の3年間で産業としての可能性を探るため、販売時期や販売場所を検討するとともに、採取地域の拡大を図ります。

最終的には山菜販売で収益を上げその収益で事業が回る事が理想ですが、事業のモデル化のために森林環境譲与税基金を活用します。開始当初は山菜の収穫量がそれほど多くないことが想定されるため、集荷や分別、包装といった作業に対し支援します。

また、「山のものを食べる」といった生命活動の根源から、人が山に思いを馳せる機会を創出する効果も期待できます。



山菜の集荷(提供:中日新聞)

■プロジェクトの具体的内容

農福連携による山菜販売のモデル化支援

(2) メンマで竹林活用プロジェクト

雨後の竹の子と言うように竹の成長は早く、また毎年生えるため、竹林の管理は地域にとって課題となっています。伐採しても毎年生えてくるため、伐採竹の置き場所に困るのはもちろん、地域によっては伐採に手が回らず杉林を侵食していく事例も見受けられます。伐採竹の処分についてはプロジェクト1において、ウッドチップパーを導入する予定ですが、そもそも竹を厄介者から資源への転換を図れないか、というのがこのプロジェクトです。

坂口地区うらのまちづくり振興会の里山部会では令和4年度からメンマ作りを行っており、令和5年11月9日に道の駅越前たけふで実施された武生製麺組合「麺まつり」において、実際に坂口地区のメンマを使用した「昔ながらの中華そば」が販売されました。この中華そばは、白山ポークを用いたチャーシュー、県産ふくこむぎを用いた麺を使用しており、あくまでも地域にこだわった麺であり、購入者から好評を得たとのこと。メンマを地域で生産することにより、中華そばの更なるブランド化を狙うこともできます。



メンマづくり

北陸新幹線越前たけふ駅が開業した現在、中華そばや、越前おろしそばといった食と農のアプローチは、関係人口の増加にも繋がります。

しかしながら、現在の課題はその生産量であり、武生製麺組合に安定的に供給できる生産量を確保できていません。生産量の拡大のためには、現在メンマ作りに取り組んでいる坂口地区の生産量増加とともに、坂口地区でモデル化したメンマ作りを他地域にも展開する必要があります。

生産量増加のためには、一定程度の資機材の導入が必要であり、この初期費用について支援を実施します。

■プロジェクトの具体的内容

越前市産メンマの生産支援

また、山菜やメンマに限らず、クロモジのような「和ハーブ」や、「つまもの」としての葉っぱビジネス、竹炭や竹酢といった森林資源を活用した新たな産業化に関する取組みについても支援していきます。

プロジェクト3

森林における温室効果ガス削減

～全市民の納得感、森林整備、産業としての可能性～

日々の生活で排出する温室効果ガスへのアプローチ

越前市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「越前市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めています。

カーボンニュートラルとは、産業活動などで排出される温室効果ガスの「排出量」と、森林管理などによる「吸収量」の量を等しくすることで、実質的な総量をゼロにするという考え方です。

一方で、カーボンオフセットという考え方があります。削減には努めるものの、どうしても排出される温室効果ガスについて、他の場所や産業で削減された温室効果ガスの量を取引することで、その削減を図るものです。カーボンオフセットの取引に必要なのが、J-クレジットです。温室効果ガスの削減量を国が認めたJ-クレジットにすることにより、削減量の適正な取引が可能となります。令和5年10月には東京証券取引上に市場が開設されるなど、今後その取引が活発化するものと考えられます。

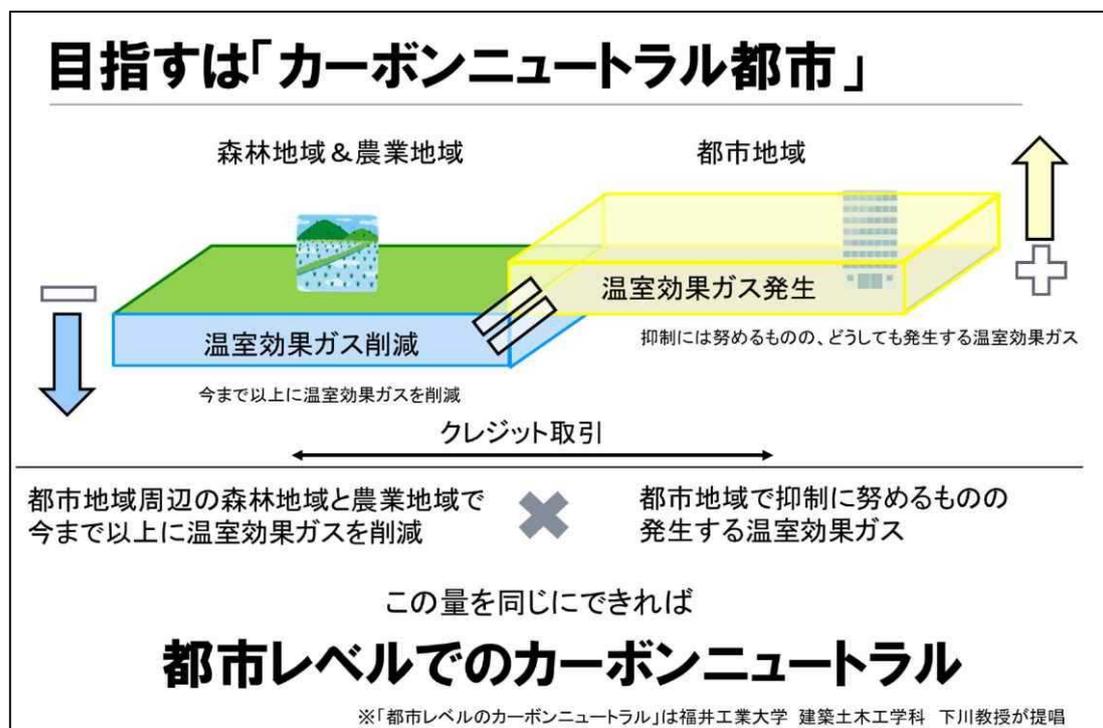
水田の中干期間の延長といった、72種類 のJ-クレジット手法が確立されています。

森林は二酸化炭素を吸収しますが、1年間に吸収される量は木が1年で成長する量で決まります。そのため、木の成長力を計測することで、その森林が吸収できる量を把握し、その吸収量分のクレジットを発行できます。

ただし、発行できるのは、適切に間伐等の森林管理が実施されている森林のみが対象となります。そのほかにも次のような条件があります。それらをクレジットの審査機関が認めることでようやくクレジットを発行し、販売できるようになります。

- 認証対象期間は16年間となり、期間中は毎年吸収量を算出してクレジットを発行可能となる
- 森林経営計画を策定していることが必須
- 吸収量算出の対象地となるのは、以下の森林
 - 1990年以降、森林の施業(造林、保育、間伐)が実施された人工林
 - 森林の保護(森林病虫害の予防及び予防)が実施された保安林等である天然林
- 一定のエリアの木を全て伐採する場合は、二酸化炭素の排出として算定するが、再造林を行った場合は、次に収穫を迎えるまでの炭素蓄積量を吸収量として算定可能
- 認証対象期間やその後10年間は、対象地の巡視などの適切な森林管理が必要

市では都市レベルでのカーボンニュートラルを目指しています。抑制には努めるものの、都市部の産業活動などにより発生する温室効果ガスの量と、都市部周辺の農地部と森林部で今まで以上に温室効果ガスを削減し、その量を等しくするという取組みです。



また、森林環境税は全市民に賦課されます。プロジェクト1では森林そのものの活用を、プロジェクト2では森林資源の活用を目的としています。しかしながら、森林に疎遠な方がいらっしゃる中で、全市民すなわち納税者の納得がいく森林環境譲与税の活用が必要となります。

そのためには、森林の価値を改めて再確認する必要があり、森林が二酸化炭素を吸収しているという当たり前のことを、見える化する必要があります。適正な森林管理により今まで以上に二酸化炭素を吸収し、J-クレジット化することで、温室効果ガスの削減量を数値化します。このことにより、森林が森林のみならず、都市部も含め市全体の環境に貢献していることを数値で示します。

市で試算したところ、森林の適正管理により得られる(販売できる)J-クレジット化にかかる費用を比較した結果、約10年間の中期で見ると、採算性があるものと見込まれました。

一方で、J-クレジットの認証機関への初期登録料といったものが、別途必要となります。これらの初期費用に森林環境譲与税を活用し、森林におけるJ-クレジットの取組みを検証します。

また、J-クレジットという付加価値の追加により、森林の産業としての可能性も探っていきます。

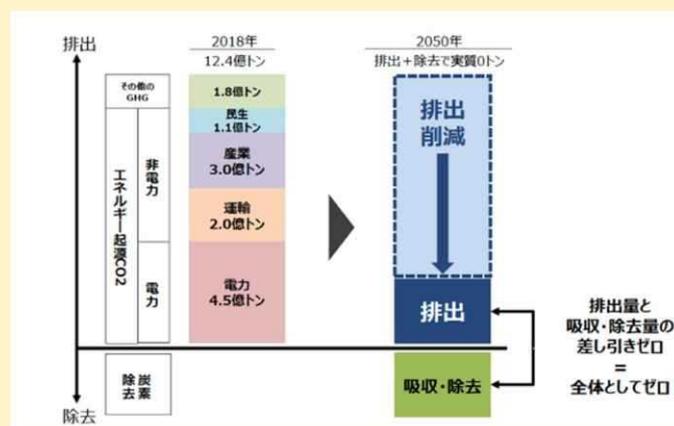
■プロジェクトの具体的内容

森林におけるJ-クレジット化の検証

コラム カーボンニュートラルとカーボンオフセット

(1) カーボンニュートラルとは

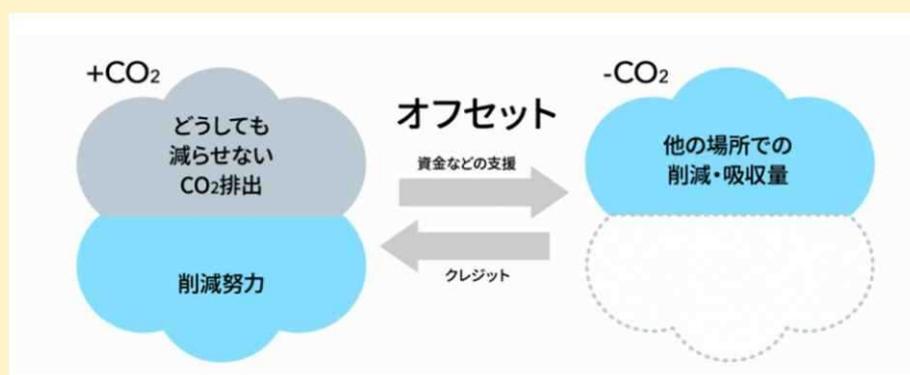
近年、地球温暖化の影響で世界では様々な気象災害が発生しており、日本においても、大雨や記録的な猛暑などの異常気象が問題となっています。今後、自然生態系や自然災害、産業・経済活動等へ更なる影響が出ると言われています。また、気候変動に関する国際機関 IPCC が 2018 年に発表した報告書によると、世界の平均気温の上昇を産業革命以前とくらべ 1.5℃を大きく超えないようにするためには、「世界全体の人為起源の二酸化炭素の正味排出量を、2030 年までに 2010 年水準から約 45%減少し、2050 年前後に正味ゼロにしなければならない」と記されています。このような状況を背景に、日本では、2020 年 10 月 26 日に当時首相だった菅義偉氏は臨時国会の所信表明演説で、国内の二酸化炭素やメタンなどの温暖化ガスの排出を 2050 年までに「実質ゼロ」とする「2050 年カーボンニュートラル宣言」を表明しました。カーボンニュートラルとは、産業活動などで排出される温室効果ガスの「排出量」を、「吸収量」や「除去量」の量を等しくすることで、実質的な総量をゼロにするという考え方です。なお、「吸収」は植林や森林整備などを進めて光合成に使われる大気中の二酸化炭素の吸収量を増やすことなどをいい、「除去」は、二酸化炭素を他の気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入する等の方法となります。



温室効果ガスの内訳と「カーボンニュートラル」のイメージ（経済産業省）

(2) カーボンオフセットとは

カーボンオフセットとは、温室効果ガスを「排出」している市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、カーボンニュートラルに向けて温室効果ガスの排出を削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で森林の保護や植林などを行うことで生まれた温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせるという考え方です。



(出展：農林水産省の HP)

コラム 森林における J-クレジット

(1) Jクレジットとは

Jクレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素等の排出削減量や、適切な森林管理による二酸化炭素等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

Jクレジット制度は、国により運営されており、創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。クレジットの販売は、相対取引、または入札販売にて取引されており、令和5年10月には東京証券取引上に市場が開設されるなど、今後その取引が活発化するものと考えられています。

Jクレジットは、省エネルギー、再生可能エネルギー、工業プロセス、農業、廃棄物そして森林の6分野に分かれており、森林では3種類の方法論が確立されています。

(2) 森林分野のJクレジット

森林分野での方法論は、適切に間伐等の森林管理が実施されている森林が対象となる森林経営活動、非森林への植林分の炭素固定を評価する植林活動、再造林による炭素固定を評価する再造林活動の3種類となります。再造林活動は、2022年8月に、新たに確立された方法論です。森林分野では2023年12月現在で101件の登録がありますが、100件が森林経営活動、1件が再造林活動での登録となっています。

(3) 森林経営活動の方法論の概要

適切に間伐等の森林管理が実施されている森林のみが対象となります。そのほかに、次のような条件があります。それらをクレジットの審査機関が認めることでようやくク

クレジットを発行し、販売できるようになります。

- 認証対象期間は16年間となり、期間中は毎年吸収量を算出してクレジットを発行可能となる
- 森林経営計画を策定していることが必須
- 吸収量算出の対象地となるのは、以下の森林
 - 1990年以降、森林の施業(造林、保育、間伐)が実施された人工林
 - 森林の保護(森林病害虫の予防及び予防)が実施された保安林等である天然林
- 一定のエリアの木を全て伐採する場合は、CO₂の排出として算定するが、再造林を行った場合は、次に収穫を迎えるまでの炭素蓄積量を吸収量として算定可能
- 認証対象期間やその後10年間は、対象地の巡視などの適切な森林管理が必要
- 伐採した木材のうち、伐採木材のうち、永続的とみなされる期間に亘り利用される木製品などの炭素固定に関わる吸収量を算定可

吸収量の算定に関しては、樹種と樹高、林齢により各都道府県が整備している収穫予想表という1年間の木の成長量がわかるデータをもとに、1年間に吸収される量を算出します。したがって、吸収量は、都道府県や場所により様々ですが、スギ・ヒノキについては、10年生から20年生の吸収量が最も大きくなるのが一般的なため、資源を循環させることが森林の二酸化炭素吸収機能の発揮においても大切なことがわかります。

